

**アフターサービス推進室活動報告書**  
**(Vol. 13:2013年9～12月)**

平成25年12月26日

**厚生労働省アフターサービス推進室**

# アフターサービス推進室活動報告書 (Vol. 13 2013年9～12月)

## I 調査結果報告

アフターサービスの観点から、厚生労働省の制度・事業の改善に資するよう「国民の皆様の声」、現場視察、厚生労働省の制度・事業に関する情報収集を基に以下の件について調査・分析し、とりまとめましたので、以下に報告します。

| 案件名                           | 調査概要  |
|-------------------------------|---|
| シルバー人材センター—高年齢者の就業機会の確保に向けた調査 | 本調査は、高年齢者の就業機会の向上に資することを目的として、就業機会の確保のため創意工夫し様々な取組を行う全国7つのシルバー人材センターを調査したものである。 |

### 1 シルバー人材センター—事例調査—高年齢者の就業機会の確保に向けた調査

#### (1) 調査目的

内閣府「平成25年版高齢社会白書」によると、我が国の65歳以上人口は、約3,079万人（総人口12,752万人に占める割合は24.1%）となっており、年々増加傾向にある。こうした中、国民の皆様の声（国民年金受給者の方）では、厚生労働省に「現在の年金額（月約8万円）では生活が苦しい。あと、4～5万円程度の収入を得たいが、ハローワークへ行っても経済状況が低迷する中、高齢を理由になかなか就職先

が決まらない。もっと、高齢者の働く場を増やしてほしい。」というような声（ご意見）も寄せられているところである。

高齢者の就労（就業）支援では、ハローワークを始めとした行政機関の役割が重要であるが、これを補完するものとして、シルバー人材センターやNPO法人の役割もますます重要になってきている。本調査は、高齢者の就業機会を確保するため、創意工夫し様々な取組を行っている「シルバー人材センター（注）」の取組みを紹介し関係者に今後の参考としていただくとともに、国民の皆様の声（意見）にあるような高齢者就労（就業）対策の一層の向上・充実を図ること等に役立たせていただくことを目的とする調査である。

注）シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に定められた、市町村（特別区を含む）単位ごとに設置された団体で、臨時的・短期的・軽易な業務を主に請負・委任の形態で行う公益法人等であり、60歳以上が加入条件とされる会員が自主的に運営する団体である。近年、草取り・襖張りといった従来の請負等業務に加え、一部のシルバー人材センターでは、労働者派遣事業、職業紹介事業のほか介護保険事業、及び会員の就業機会を増やすため独自事業として学習教室、農作物の生産・販売、食堂の運営など様々な取組みをしている。

## （２）調査対象

今回調査対象としたシルバー人材センターは、独自の事業開拓により高齢者の生きがいの充実と就業機会の確保・地域活性化に努めるなど、創意工夫が見られる全国のシルバー人材センターの中から以下の7センターとした。

### 調査対象シルバー人材センター一覧表

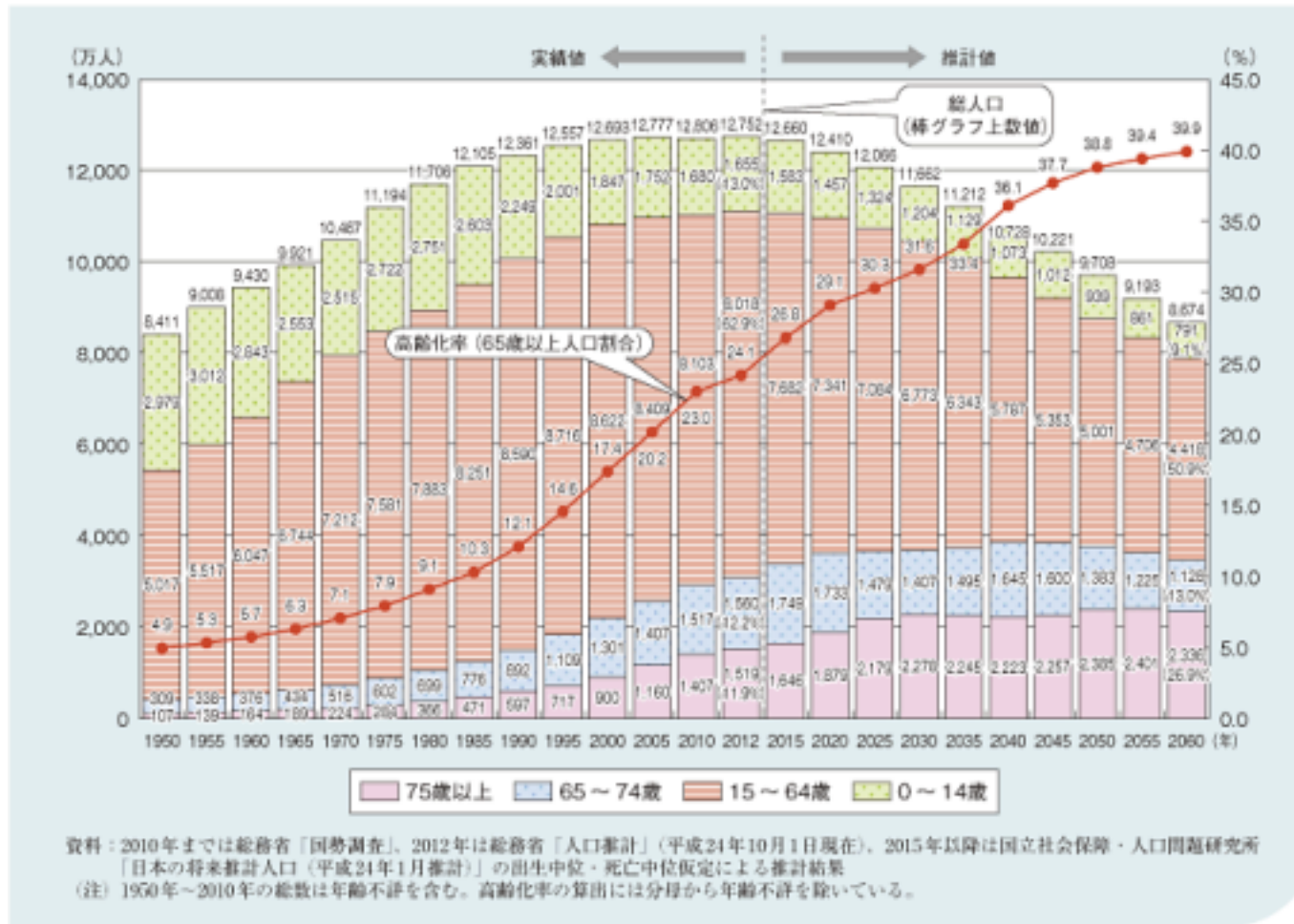
| 番号 | 名 称                      | 所 在 地   | 設 立 年 月 日<br>(公益社団法人移行日)                |
|----|--------------------------|---|---|
| 1  | 公益社団法人<br>草加市シルバー人材センター  | 〒340-0021<br>埼玉県草加市手代町 1009-1<br>TEL: 048-928-9211      | 昭和 60 年 1 月 26 日<br>(平成 24 年 4 月 1 日)   |
| 2  | 公益社団法人<br>福井市シルバー人材センター  | 〒910-0019<br>福井市春山 2 丁目 7 番 15 号<br>TEL: 0776-27-0701   | 昭和 55 年 10 月 21 日<br>(平成 23 年 4 月 1 日)  |
| 3  | 公益社団法人<br>上田地域シルバー人材センター | 〒386-0027<br>長野県上田市常磐城 3-2-10<br>TEL: 0268-23-6002      | 昭和 63 年 4 月 27 日<br>(平成 23 年 4 月 1 日)   |
| 4  | 公益社団法人<br>甲賀市シルバー人材センター  | 〒528-0035<br>滋賀県甲賀市水口町名坂 830-1<br>TEL: 0748-63-0872     | 平成元年 2 月 28 日<br>(平成 23 年 5 月 2 日)      |
| 5  | 公益社団法人<br>守口市シルバー人材センター  | 〒029-2205<br>大阪府守口市桃町 3-30<br>TEL: 06-6998-3601         | 昭和 55 年 11 月 20 日<br>(平成 23 年 3 月 22 日) |
| 6  | 公益社団法人<br>伊丹市シルバー人材センター  | 〒664-0015<br>兵庫県伊丹市昆陽池 2 丁目 13 番<br>TEL: 072-772-0161   | 昭和 50 年 4 月 1 日<br>(平成 23 年 4 月 1 日)    |
| 7  | 公益社団法人<br>府中町シルバー人材センター  | 〒735-0013<br>広島県安芸郡府中町浜田三丁目 9 番 2 号<br>TEL 082-285-0161 | 昭和 62 年 12 月 19 日<br>(平成 23 年 4 月 1 日)  |

### (3) 調査概要

#### 1) 高年齢化の推移と就業率の推移

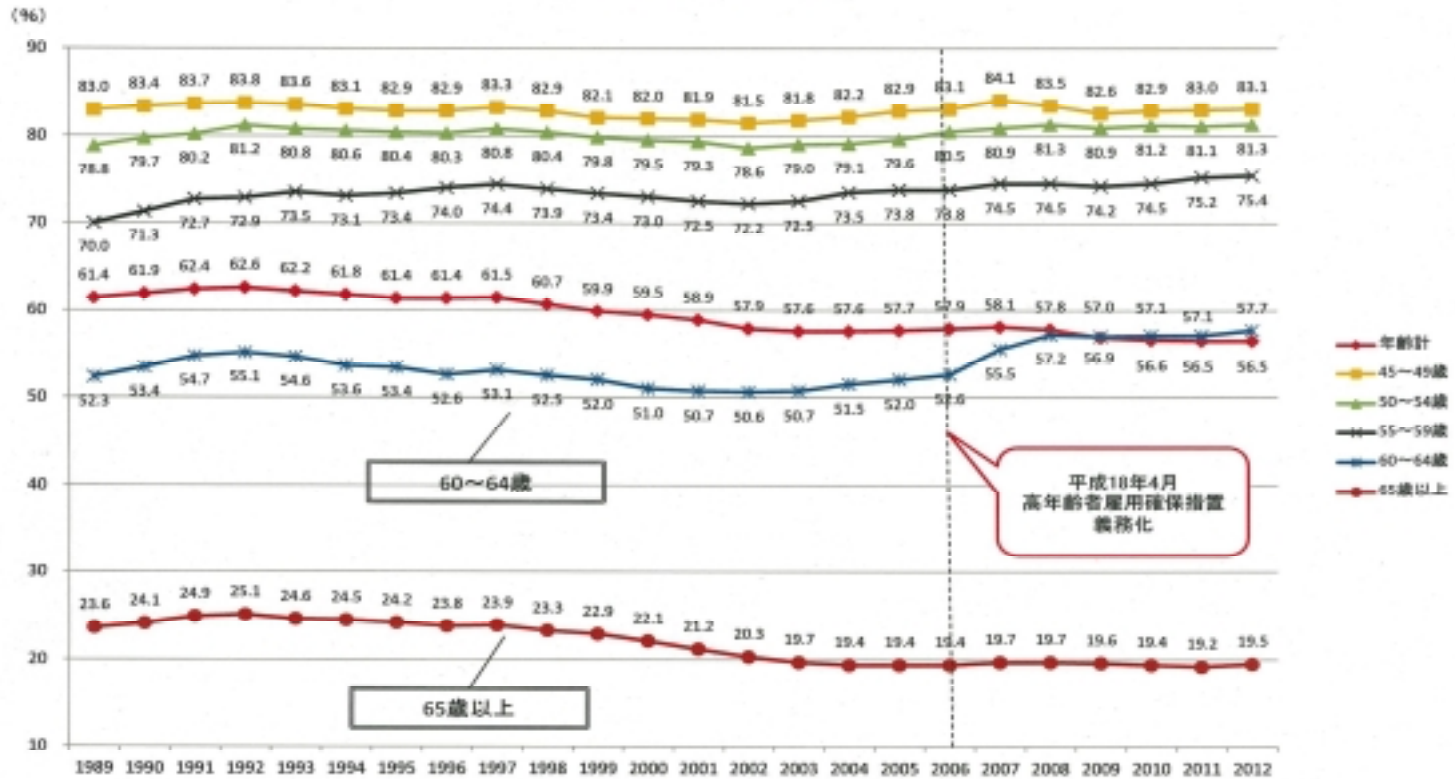
日本の総人口は減少しているが、高齢化率は上昇している（資料：内閣府「平成25年版高齢社会白書」参照）。

図1-1-4 高齢化の推移と将来推計



高齢者の就業率を見ると、平成18年4月に高齢者の雇用確保措置の義務化に伴い、定年延長・再雇用制度の定着化が図られてきており、特に、60～64歳までの就業率が上昇している。平成20年度以降、シルバー人材センターは会員数の減少（特に、60～64歳層の新規入会者数の減少）を見ているが、この影響が大きいものと指摘されている（下記「中高年者の就業率の推移」参照（総務省統計局「労働力調査」））。

## 就業率の推移



(資料出所)総務省統計局「労働力調査」

(年)

## 2) 全国のシルバー人材センターの現状

平成24年度現在、全国における団体数（センター数）は1,267団体となっており、センター数は、市町村合併により、平成15年の1,839団体をピークとして減少している。会員数は、平成20年度（764千人）をピークに、年々減少を続けており、平成24年度は744千人で平成20年度の764千人と比して約20千人の減少となっている。契約金額は平成19年度（3,270億円）をピークに、年々減少を続けており、平成24年度は2,982億円で平成20年度の3,198億円と比して約216億円の減少となっている。

会員数の減少は、前記1)に見るように、高齢者の雇用確保義務化の影響によることが原因と考えられ、今後会員の増加を図るには、魅力あるセンターの運営等により労働市場から退出過程にある団塊世代の受入を図るとともに、女性会員の参加促進の必要性が指摘されている。

### 契約金額・加入会員数・団体数の推移（全国）

| 年度    | 契約金額<br>(億円) | 団体数   | 加入会員数<br>(男性) | 加入会員数<br>(女性) | 加入会員数<br>(合計) |
|-------|--------------|-------|---------------|---------------|---------------|
| 昭和55年 | 42           | 92    | 33,442人       | 13,006人       | 46,448人       |
| 平成元年  | 681          | 412   | 138,429人      | 64,828人       | 203,257人      |
| 平成5年  | 1,100        | 642   | 201,870人      | 105,686人      | 307,556人      |
| 平成10年 | 1,964        | 1,308 | 352,418人      | 186,524人      | 538,942人      |
| 平成15年 | 2,916        | 1,839 | 507,171人      | 255,118人      | 762,289人      |
| 平成20年 | 3,198        | 1,297 | 509,408人      | 254,754人      | 764,162人      |
| 平成24年 | 2,982        | 1,267 | 503,748人      | 240,221人      | 743,969人      |

出典：全シ協統計年報

注1)平成元年及び平成5年は国庫補助対象団体のみ集計

注2)平成20年以降の契約金はシルバー派遣を含めた実績値

### 3) 各調査対象シルバー人材センターの現状

調査対象シルバー人材センターの概要（①組織概要（加入会員数等）、②事業概要（受注件数、契約金額等）、③その他（就業率・月平均就業日数・月平均配分金収入等））は、以下のとおりである。

#### 1 【組織概要】

| 番号 | 名 称            | 加入会員数   | 男性会員、女性会員及びホワイトカラー出身者数（同割合）                                   | 管轄内自治体人口  | うち 60 歳以上の人口 |
|----|----------------|---------|---|-----------|--------------|
| 1  | 草加市シルバー人材センター  | 2,203 人 | 男性：1,477 人 (67.1%)<br>女性： 726 人 (32.9%)<br>ホワ： 838 人 (38.0%)  | 243,978 人 | 68,767 人     |
| 2  | 福井市シルバー人材センター  | 2,445 人 | 男性：1,420 人 (58.1%)<br>女性：1,025 人 (41.9%)<br>ホワ： 457 人 (18.7%) | 267,509 人 | 87,756 人     |
| 3  | 上田地域シルバー人材センター | 2,065 人 | 男性：1,367 人 (66.2%)<br>女性： 698 人 (33.8%)<br>ホワ： 64 人 (3.1%)    | 199,366 人 | 71,859 人     |
| 4  | 甲賀市シルバー人材センター  | 1,106 人 | 男性： 671 人 (60.7%)<br>女性： 435 人 (39.3%)<br>ホワ： 187 人 (16.9%)   | 93,681 人  | 28,491 人     |
| 5  | 守口市シルバー人材センター  | 1,471 人 | 男性： 864 人 (58.7%)<br>女性： 607 人 (41.3%)<br>ホワ： 94 人 (6.4%)     | 145,822 人 | 48,451 人     |
| 6  | 伊丹市シルバー人材センター  | 2,920 人 | 男性：1,787 人 (61.2%)<br>女性：1,133 人 (38.8%)<br>ホワ： 499 人 (17.1%) | 197,160 人 | 56,797 人     |
| 7  | 府中町シルバー人材センター  | 347 人   | 男性： 229 人 (66.0%)<br>女性： 118 人 (34.0%)<br>ホワ： 59 人 (17.0%)    | 51,507 人  | 14,458 人     |



|  |                       |                    |   |   |   |
|--|-----------------------|--------------------|---|---|---|
|  | (全国総会員数)<br>(全国平均会員数) | 743,969 人<br>587 人 | 男性：503,748 人 (67.7%)<br>女性：240,221 人 (32.3%)<br>ホワ： — | — | — |
|--|-----------------------|--------------------|---|---|---|

### 【コメント】

- 会員数が 2,000 人を超えるところは、草加市 S C、福井市 S C、上田地域 S C、伊丹市 S C の 4 ヶ所である。
- 女性会員が 40%を超えているのは、福井市 S C と守口市 S C の 2 ヶ所である。
- ホワイトカラー出身者数が会員の 15%以上を占めているのは、草加市 S C、福井市 S C、甲賀市 S C、伊丹市 S C、府中町 S C の 5 ヶ所である。
- 全国平均会員数とは、総会員数を総団体数 1,267 で割った数値。
- 各シルバー人材センターの統計数値は平成 24 年度を使用。

## 2 【事業概要】

| 番号 | 名 称            | 受注件数     | 契約金額 (千円)    | 就業延べ人員     | 就業実人員   |
|----|----------------|----------|--------------|------------|---------|
| 1  | 草加市シルバー人材センター  | 4,585 件  | 851,079 千円   | 214,584 人日 | 1,597 人 |
| 2  | 福井市シルバー人材センター  | 12,978 件 | 968,401 千円   | 202,551 人日 | 1,787 人 |
| 3  | 上田地域シルバー人材センター | 12,446 件 | 1,094,567 千円 | 223,835 人日 | 1,995 人 |
| 4  | 甲賀市シルバー人材センター  | 3,179 件  | 265,038 千円   | 61,989 人日  | 831 人   |
| 5  | 守口市シルバー人材センター  | 4,092 件  | 603,684 千円   | 176,728 人日 | 1,320 人 |
| 6  | 伊丹市シルバー人材センター  | 7,265 件  | 1,154,439 千円 | 245,941 人日 | 1,999 人 |

|   |               |         |                |            |           |
|---|---------------|---------|----------------|------------|-----------|
| 7 | 府中町シルバー人材センター | 1,737 件 | 153,803 千円     | 39,323 人日  | 318 人     |
|   | (全国総合計数)      | 354 万件  | 298,227,920 千円 | 68,953 千人日 | 61 万 6 千人 |
|   | (全国平均値)       | 2,797 件 | 229,583 千円     | 53 千人日     | 486 人     |

#### 【コメント】

- 受注件数が 10,000 件を超えているところは、福井市 S C と上田地域 S C の 2 ヶ所である。
- 受注金額が 10 億円を超えているのは、上田地域 S C と伊丹市 S C の 2 ヶ所である。
- 就業延べ人員が 200,000 人日以上となっているのは、草加市 S C、福井市 S C、上田地域 S C、伊丹市 S C の 4 ヶ所である。
- 就業実人員が 1,000 人を超えているのは、草加市 S C、福井市 S C、上田地域 S C、守口市 S C、伊丹市 S C の 5 ヶ所である。
- 全国平均受注件数は、総受注件数を総団体数 1,267 で割った数値。
- 全国平均契約金額は、総契約金額を総団体数 1,267 で割った数値。
- 全国平均就業延べ人員とは、総就業延べ人員を総団体数 1,267 で割った数値。
- 各シルバー人材センターの統計数値は平成 24 年度を使用。

### 3 【就業率・月平均就業日数・月平均配分金収入】

| 番号 | 名 称            | 年平均就業率 | 月平均就業日数 | 月平均配分金収入 |
|----|----------------|--------|---------|----------|
| 1  | 草加市シルバー人材センター  | 72.5%  | 11.2 日  | 39,961 円 |
| 2  | 福井市シルバー人材センター  | 73.1%  | 9.4 日   | 36,085 円 |
| 3  | 上田地域シルバー人材センター | 96.6%  | 9.0 日   | 39,772 円 |

|   |               |              |             |                            |
|---|---------------|--------------|-------------|----------------------------|
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター | 75.1%        | 9.0日        | 34,752円                    |
| 5 | 守口市シルバー人材センター | 89.7%        | 11.2日       | <b>44,243円</b>             |
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター | 68.5%        | 10.3日       | 36,559円                    |
| 7 | 府中町シルバー人材センター | <b>91.6%</b> | 10.3日       | 33,370円                    |
|   | 全国平均          | <b>82.7%</b> | <b>9.3日</b> | 35,221円（上記7センター平均は37,820円） |

注1) 一人当り配分金=会員配分金÷(月平均就業実人員×12ヶ月)

注2) 年平均就業率=年平均就業実人員÷年平均会員数×100

#### 【コメント】

- ・就業率が90%を超えているところは、上田地域SCと府中SCの2ヶ所である。
- ・月平均就業日数が10日を超えているのは、草加市SC、守口市SC、伊丹市SC、府中町SCの4ヶ所である。
- ・調査対象7センターの月平均配分金収入は、37,820円（全国平均35,221円）となっている。なお、月平均配分金収入が40,000円以上となっているのは、守口市SCの1ヶ所である。

## 4) シルバー人材センターによる取組事例と工夫

### ○調査の着眼点

国民の皆様の声に代表されるような声に応えるためには、登録された会員が、持続的に就業の機会を得ていく必要がある。このためには、一般家庭や民間事業所がシルバー人材センターを利用していただくための取組みが求められる。こうした中、各地域のシルバー人材センターでは、様々な取組みをしており、これらを紹介する。

調査の結果、意欲的な取組みを行っているシルバー人材センターは独自の工夫を凝らしていることがわかった。これらのシルバー人材センターの取組みで比較的共通すると思われるものは以下のとおりであり、就業の質を高める方策、もしくは着眼点として参考になれば幸いである。

今回はシルバー人材センターの就業の質を高める方策としての工夫事例(特に地域ニーズ、会員の希望等を取り入れた事業の取組を図っている事例)を、特に、以下の3つの着眼点から調査を実施することとした。

- 1 就業開拓に関する工夫事例
- 2 利用奨励に関する取組みに関する工夫事例
- 3 会員への仕事の配分に関する工夫事例

○取組み事例と工夫点のまとめ

各シルバー人材センターの工夫点(まとめ)は、下記「各シルバー人材センターの工夫一覧表」のとおりとなっており、また、その詳細は、別添1記載のとおりである。また、就業開拓等の取組に関して、特に、各センターが力点を置いて取組を図っているものを別添3「各シルバー人材センターの取組事例」にまとめた。

**【各シルバー人材センターの工夫一覧表】**

| 工夫の種類      | 分野別  | 代表的な取組例  |
|------------|------|--|
| 就業開拓に関する工夫 | 育児分野 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○親子のひろば「のびーすく」：地元自治体に協力し子育て支援事業を展開。地域の子育て支援と高齢者の就業機会の両立を図る（草加市SC）</li> <li>○子ども一時預かり事業：「日だまりの家」「えくぼ」「のびのび」など地域の子育て支援と高齢者の就業支援をうまく組み合わせている（福井市SC）</li> <li>○みどり保育園の運営：全国のシルバー人材センターでも類を見ない月極保育園を運営（伊丹市SC）</li> </ul> |
|            | 農業分野 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○シルバー農園：地元自治体に協力し、地域の課題（耕作放棄地の活用、農業後継者の育成）に取り組むとともに会員の就業機会を確保（上田地域SC）</li> <li>○甲賀野菜の栽培販売：地元自治体の進める地元野菜のブランド化に協力し、農産物の生産と販売を実施（甲賀市SC）</li> </ul>  |
|            | 介護分野 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○通所介護事業（「ひだまりの家」）：約二千坪の敷地に日本家屋と広い庭</li> </ul>   |

|            |        |   |
|------------|--------|---|
|            |        | <p>がある施設を拠点にデイサービス提供（福井市ＳＣ）</p> <p>○老健施設入居者へのサービス事業を運営：介護老人保健施設と提携し、病弱者への福祉サービスを提供すると同時に高齢者の就業機会を確保（守口市ＳＣ）</p> <p>○訪問介護事業：訪問介護事業を通じて地域へ貢献すると同時に高齢者の就業機会を確保（守口市ＳＣ）</p>   |
|            | 家事援助分野 | <p>○ちよこっと手助けサービス：シルバー会員の就業機会の提供と高齢者の地域見守りを同時に達成（草加市ＳＣ）</p> <p>○シルバーママサービス事業：子どもの一時預かり事業を通じて高齢者の活躍の場を提供（府中町ＳＣ）</p>   |
|            | その他    | <p>○剪定枝葉チップリサイクル堆肥の生産販売：剪定作業で不要となった枝葉を再利用し肥料を生産し、販売（甲賀市ＳＣ）</p> <p>○売店事業（「昆陽池売店」「スカイパーク売店」）：高齢女性会員が働きやすい就業場所の確保に努める（伊丹市ＳＣ）</p> <p>○ふれあい喫茶「椿庵」の運営：地元の食材を使用（地産地消）するなどを通じて地域の振興を図ると同時に、シルバー会員に喫茶・飲食分野での就業場所を確保（府中町ＳＣ）</p> <p>○一人一開拓運動（上田地域ＳＣ）</p> |
| 利用奨励に関する工夫 | 就業開拓   | <p>○お客様担当（就業開拓創出員）を２名配置（草加市ＳＣ）</p> <p>○会員一人一開拓運動を推進、シルバー人材センターの利用勧奨に取り組む（上田地域ＳＣ）</p> <p>○理事による事業所や発注者訪問活動（草加市ＳＣ、守口市ＳＣ）</p> <p>○就業開拓員等による企業訪問や家庭訪問など、仕事の出来栄への聞き取り調査を実施、かつシルバー人材センターのPRも実施（守口市ＳＣ）</p> <p>○会員による入会勧誘・リピーター獲得のための声掛け（府中町ＳＣ）</p>   |

|  |                       |   |
|--|-----------------------|---|
|  | <p>広報活動</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○会員によるチラシの配布やポスター掲示（草加市ＳＣ、福井市ＳＣ）</li> <li>○市広報誌への掲載（草加市ＳＣ他）</li> <li>○除草、植木剪定従事会員による就業先近辺へのチラシ配布（福井市ＳＣ）</li> <li>○就業開拓員、業務推進員による事業所訪問（福井市ＳＣ）</li> <li>○ビデオ紹介、パンフ、ノベルティ配付でシルバー人材センターの知名度向上や就業案内をPR（上田地域ＳＣ）</li> <li>○顧客へ毎年カレンダーを配付し利用促進を依頼（上田地域ＳＣ）</li> <li>○機関誌・広報誌を発行し活動内容を市民・会員等へ広く周知（「ふれあい」（草加市ＳＣ）、「あじさい」（福井市ＳＣ）、「シルバーこうか」（甲賀市ＳＣ）、「ふれあい」（守口市ＳＣ）等）</li> <li>○中心市街地での街頭活動（伊丹市ＳＣ）</li> <li>○地元FM局による広報（伊丹市ＳＣ）</li> <li>○シルバーフェスティバルやシルバー文化作品展開催によるPR（伊丹市ＳＣ）</li> <li>○地域班を中心とした清掃奉仕活動によるPR（伊丹市ＳＣ）</li> <li>○ホームページでの情報提供（全てのＳＣ）</li> </ul> |
|  | <p>出張相談・セミナー・イベント</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ハローワーク窓口での出張相談業務やシルバー人材センターセミナーを実施（甲賀市ＳＣ）</li> <li>○イベント等への参加や各マスコミ等への取材協力にて活動内容を啓発周知（甲賀市ＳＣ）</li> <li>○「シルバーフェア」を開催（守口市ＳＣ）</li> <li>○社会福祉協議会、町内会連合会で入会促進や就業開拓を実施（府中町ＳＣ）</li> <li>○企業訪問の実施（府中町ＳＣ）</li> </ul>   |
|  | <p>その他</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○お客様への満足度調査を実施し就業への反応を把握（上田地域ＳＣ）</li> <li>○植木剪定・除草作業について、翌年分の事前予約はがきを送付（伊丹市ＳＣ）</li> </ul>  |

|             |        |   |
|-------------|--------|---|
| 仕事の配分に関する工夫 | ルール関連  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○適正就業基準を設けてローテーション就業、長期就業の是正を図るよう推進（甲賀市SC）</li> <li>○就業期限の設定に関する基準で3年を限度として他の会員と交代する旨規定（草加市SC）</li> </ul>  |
|             | 情報発信   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「しごと情報」を発行（草加市SC）</li> <li>○HP及び「事務局だより」で周知（府中町SC他）</li> <li>○携帯メールを活用した就業情報提供（上田地域SC）<br/>シルバーだよりの掲載やテレホンサービスでも就業情報提供。携帯メールを導入。連絡に係る事務の効率化と就業機会提供の公平性の担保を同時に図っている（上田地域SC）</li> <li>○会報「シルバーだより」にて就業情報を掲載（甲賀市SC）</li> </ul>                   |
|             | 公平性の担保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○未就業会員への優先的就業提供（福井市SC）</li> <li>○未就業会員への声かけ（上田地域SC）</li> <li>○就業相談会を実施し、会員の詳細な希望等の把握（守口市SC）</li> <li>○公開受注簿で、受注状況を常に公開（守口市SC）</li> <li>○入会時の希望職種に基づき就業相談を実施し、適する仕事があれば紹介（伊丹市SC）</li> <li>○月曜日から金曜日まで毎日就業相談を実施し、来館者に募集中の業務を斡旋（伊丹市SC）</li> </ul> |
|             | その他    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一開拓運動では自分のできる仕事を開拓（上田地域SC）</li> </ul>   |

## 5) シルバー人材センター関係者のご意見等

今回の調査を通じ、シルバー人材センター会員、利用者、運営者等の関係者からご意見・ご要望を聴取したところ、代表的なものは以下のとおりである。なお、詳細については、別添2「シルバー人材センター関係者のご意見・ご要望等一覧表」参照。

### 【シルバー人材センター関係者のご意見・ご要望等一覧表】

| 番号 | 属性   | 関係者等のご意見・ご要望等  |
|----|------|--|
| 1  | 加入会員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 人と接することが好きなので水を得た魚のように喜んで働いている。(ふれあい喫茶「T庵」Nさん、F町SC)</li> <li>▶ 子育て支援事業を「のびのび」などで担当しているが、お母さん方が自分で解決出来ない悩みを聞き、解消してあげている。F市は転勤族が多く、3～4年で変わる。しかし、赤ちゃんが産まれたときなど、近所に知っている人もいない中で、支援を行い大変喜ばれている。小さな子供を抱えた若い母親への支援として、保育園への送迎、掃除、小さな子供の預かりなどがある。地元の方も多いが、ここでママ友を作り、広場で悩みを話せることで救われる母親も多い。安心して預けられることもあって人気が高く、この仕事にやり甲斐を感じている。(会員Jさん、F市SC)</li> <li>▶ ランドリーサービスを担当しています。ランドリーサービスは近くのコインランドリーを使っている。家族が遠く離れている状況で、利用者は孤立しているため、コミュニケーションをとりながらやっています。また、出来るだけ本人の意見を聞きながらやっています。利用者の「待っていたよ。」の一言が支えとなっている。(会員Mさん、M市SC)</li> <li>▶ ちょこっと手助けサービスで家事援助を担当しています。要支援1の介護度で、軽度の認知症の方の話相手になっています。週一回のサービスで3人を受け持っています。やすらぎ支援事業も担当しています。こちらは家族がいても、日中はひとりなので話相手を担っています。本人は勿論、家族の方にも喜んでもらっています。(会員Kさん、S市SC)</li> </ul> |
| 2  | 利用者  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ リンゴ園に人材を送り出しいただき心から感謝しています。会員の皆さんの明るく前向きな姿勢、そして最高のチームワークでがんばっていただいたおかげでわずか3日間で終わらせるこ</li> </ul>   |



|   |             |   |
|---|-------------|---|
|   |             | <p>とができました。ありがとうございました。」(利用者Xさん、U地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 利用者の母親世代の人たちが、面倒を見てくれるため、子供の相談とか、パパとのかかわり方など、幼稚園では相談出来ない様々なことが相談出来る。また、紙芝居や、昔ながらのわらべ歌など、シルバーの会員さんが一生懸命で、研究熱心であり、常に勉強する姿勢が伺えてとても尊敬しています。(利用者Aさん、S市SC)</li> <li>▶ 過剰農薬散布を気にせず、安心して食べられ、また規格サイズを気にせず、育成した新鮮で美味しい野菜を作れるのは、シルバー人材センターの会員であればこそできる事業だと思います。健康がなによりと感じている会員の就業の場が広がり、特産品が食べられるという特典もあるいい事業だと思います。(利用者Tさん、K市SC)</li> </ul>  |
| 3 | センター<br>運営者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業仕分けで事務局の経費が1/3カットされ困っている。県内で16,000名、当センターでも347名の会員の支援をするのは事務局であり、ここが弱体化するとシルバー人材センターを円滑に運営し、仕事を確保し会員を支えていくことが困難となる。(F町SC)</li> <li>▶ 平成22、23年度2年間で補助金は1,380万円削減され、事業実績も低下し、800万円の赤字決算となった。このため自主財源を見直す必要性に迫られている。運営費の削減1,100万円、平成24年度会費を1,700円から3,500円に引き上げせざるを得ず、平成25年度事務費も8%から10%に引き上げ、会員の負担が増大した。就業開拓努力も実施しているが、経営健全化のためには、削減された補助金の復活が必要であり、ご検討願いたい。また、広域加算金が切られるときは、具体的な方策を示すなどデザインの提示が望まれる。(U地区SC)</li> <li>▶ 一般労働者派遣事業は、派遣契約期間は一年間(最大3年間)になっているが、このため多くの就業機会を失う状況となっている。3年で終わるのではなく、延長出来るようなものとして欲しい。(F市SC)(I市SC)</li> <li>▶ 最近隣近所が疎遠になったように思われる。高齢者の孤立化だけではなく、子育てにおいても相談出来る人がおらず、このように困っている人たちを繋ぐ地域のネットワークが必要である。行政はこのネットワークの形成に関して、もっと力を入れるべきで、シルバー人材センターも、既存の組織との連携を密にすることで、地域社会のネットワークの再構築を図ることが必要と思う。(S市SC)</li> </ul> |

注) ご意見等は、主たる意見を記載。

## 6) まとめ

### 1 シルバー人材センターは、高齢者の就業機会を確保する上で頼れる存在の一つ

- (1) 本調査は、「国民の皆様の声」に寄せられた年金受給者からの「現在の年金額では生活が苦しい。あと、4～5万円程度の収入を得たいが、ハローワークへ行っても高齢を理由になかなか就職先が決まらない」との切実なご意見を端緒に実施した。
- (2) 我が国の65歳以上の高齢者は、内閣府「平成25年版高齢社会白書」に拠ると、2012年では24.1%であるものが、2025年には3割を超え、2050年には38.8%に達すると推計され、急速に高齢化が進行している。こうした中、65歳以上の高齢者にとっては現実問題として就労が厳しい面もあり、その中で、頼れる存在の一つとなっているのが、「シルバー人材センター」であると言える。

### 2 得られる収入額は、「国民の皆様の声」に寄せられたご意見（ご要望）の概ね7～8割が確保

法令で定められた「シルバー人材センター」の多くは公益社団法人であり、60歳以上であれば、誰でも会員になれる。また、仕事の内容は「臨時、短期、軽易な業務」であるが、一定の技能を要する仕事もあり、未経験の場合には、シルバー人材センターが主催する講習等を通じて、技能習得が可能である。また、会員は基本的には提供される仕事のメニューの中から自分がやりたい仕事を選択（入会面接時等で相談）できる。

なお、平成24年度における月平均配分金は、調査対象の7センター平均が37,820円、全国平均が35,221円となっており、国民の皆様の声に寄せられたご意見（ご要望）の概ね7～8割を満たすものとなっている。

### 3 生きがい・やり甲斐を感じている会員が多く収入以上のものを得ている

今回調査において会員および関係者の声をお聴きしたところ、シルバー人材センターの活動を通じて、多くの会員が健康の実感や生きる喜び（生きがい・やり甲斐）を得ており、経済効果以外にも、健康の維持・増進などの効果があることが見受けられた。全国シルバー人材センターの調査によれば、高齢者の医療費等の削減や生活保護費削減等にも寄与しているということであり（注1）、また、ヒアリングをした会員からは、例えば、「ちょこっと手助けサービス」などは、困っている人を助けるという社会貢献活動ともなっており、満足感を得ているとの意見が聴かれた（注2）。

### 4 シルバー人材センターは、高齢者の就業機会を確保するため様々な事業を展開

- (1) 各シルバー人材センターは、会員の就業機会の確保を図るため、様々な取組みをしている。従来の草取り、植木の剪定等の委託事業に加え、労働者派遣事業、職業紹介事業のほか、介護保険事業、及び独自事業として学習教室の運営、農産物・工芸品の生産販売、食堂・売店の運営、子ども一時預かり施設の運営など「臨時、短期、軽易な業務」に係る就業機会の確保のため、多岐にわたる分野で事業を展開している。

こうした独自事業は、会員の発意によるものも多く情熱が注がれており、これまで以上の「やり甲斐」や「生きがい」を生み出す効果が生じている。就業する会員からご意見・感想を聴いたところ、「やり甲斐」があるとする意見が多数であることに加え、「水を得た魚のようだ」とする意見もあることから、こうしたことが視える。また、今回調査した事業の利用者からも、高い評価を聴くことが出来た。

- (2) また、センター運営者は、会員の就業機会を確保するため、会員とともに相当な努力をしており、理事自らが地元企業などへ訪問し、シルバー人材センターへの協力を依頼するなどの活動を行っている。また、会員のモチベーションを上げるため、理事長から会員へ「会員お一人お一人がセールスマンの気持ちを持ち、座して待つのではなく自ら行動を起こし、元気で生きがいのある毎日を過ごすようではありませんか」と呼びかけたり、会員一人が一つの契約獲得を目標に「会員一人一開拓運動」を展開するセンターも見られる。このように会員の就業機会の確保のため並々ならない関係者の努力が見られるところである。

## 5 シルバー人材センターを活用するのも選択肢の一つ

以上のように、金銭的収入から見た場合に今回寄せられたご意見に対する答えとしては、金銭収入を主目的としないシルバー人材センター事業のみで応えうるものではないが、現に就業する多くの会員は「やり甲斐」「生きがい」を持ち、地域の中で生き生きと就業しているものと認められ、金銭収入以上のものを得ていることが考えられる。こうしたことから、最寄りの「シルバー人材センター」でご相談されることも選択肢の一つと思われる。

## 6 引き続き、地方自治体及び国の支援が望まれる

- (1) シルバー人材センターはその事業活動を通じて、高年齢者の就業機会を確保するほか、高年齢者がやり甲斐・生きがいを持つとともに地域の社会参加を可能とすることに貢献しており、運営費の助成等の地方自治体及び国の支援が引き続き必要である。
- (2) また、就業機会確保の面では、更なる積極的な就業開拓は当然として、独自事業のような新たな取組みも重要である。この場合に問題となるのは事業の採算性ならびに事務局負担の増大と言えるが、地方自治体や国の補助を受けながら事業を運営する「企画提案方式」による事業（注3）も独自事業の立ち上げによる就業延人員増加には有効であり、引き続き、地方自治体及び国の支援が望まれる。

## 7 本事例が参考となることを念願

今回調査にご協力いただいたシルバー人材センター関係者の皆様方には感謝申し上げるとともに、本格的な高齢化社会が到来する中、就業を希望する高年齢者のためにより良いセンターの運営が行われるよう、厚生労働省としても引き続き努力するとともに、関係機関等におかれては本事例が参考となることを念願したい。

### (注1) シルバー人材センター活動の様々な効果

#### (1) 高齢者医療費等の削減効果

- ・就業している会員の総医療費の推計値は年間 35.8 万円であり、一般高齢者の 41.8 万円と 6 万円の差額がある。
- ・センター会員であることで、要介護者の減少が、年間約 5 千人と推計される。
- ・以上を推計すると、医療費は 80 万人の会員全体で年間約 480 億円、介護保険サービス費用は約 37 億円、合わせて 517 億円の医療介護の財政軽減に寄与。

(資料：全シ協「高齢者の社会活動と健康維持・増進に関する調査（平成 18 年 3 月）」)

#### (2) 生活保護費の削減効果

- ・シルバー人材センターからの収入がなくなった場合、会員の 4 割が生活保護受給者となる恐れがある。
- ・シルバー人材センター事業により年間 1,000 億円の生活保護費が削減。

(資料：全シ協：「シルバー人材センター会員の実態に関する調査（平成 22 年 9 月）」)

### (注2) 就業する会員の満足感を示す意見

- ・「子育て支援による育児活動」→利用者の声「とても助かっています。」、会員の声「ありがたいと言われることが生きがいです。」「感謝されることで仕事にはりができます。」「元気をもらえる。」(S市、F市、I市)
- ・「介護支援活動」→利用者の声「大変感謝している。」、会員の声「頼りにされるとうれしい。」(S市)
- ・「高齢者の見守り活動」→利用者の声「待っていたよ。」、会員の声「この一言が支えです。」(M市)
- ・「農業支援活動」→利用者の声「安全安心をありがとう。」、会員の声「本当に役に立っている。」(U地域、K市)
- ・「食堂支援活動」→利用者「ありがとう。美味しかった。」、会員の声「この声でやり甲斐を感じる」(F町)
- ・「地域の伝統産業育成活動」→利用者「大変有意義です。」、会員の声「地域で活かしたい」(K市)

### (注3) 企画提案方式による事業

「企画提案方式」とは、厚生労働省が平成 20 年度よりシルバー人材センター事業の新たな取り組みとして、政策要請の高い分野（教育・子育て・介護・環境等の分野）で地方公共団体と連携し、共同で企画提案された事業を厚生労働省の採択を受け、国から事業運営にかかる支援を受けながらシルバー人材センターが実施するもの。シルバー人材センターの創意工夫により地域社会ニーズに応えとともに、高齢者の就業確保が期待されるもの（平成 24 年度から観光・第 1 次産業の分野が追加）。

## シルバー人材センターによる取組事例と工夫一覧表

## 1-1 就業開拓に関する工夫（福祉・家事援助・育児関連事業）

| 番号 | 名 称           | 工夫内容  |
|----|---------------|---|
| 1  | 草加市シルバー人材センター | <p><b>1) 福祉・家事援助・育児</b></p> <p>① 親子のひろば「のび〜すく旭町・青柳」<br/> 草加市の補助により、0～3歳児親子のつどいのひろばを旭町と青柳で2カ所運営。ひろばの中で、のび〜すく利用者を対象とした“のびママサポート”（一時預かり）を併せて実施。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> 近年の核家族化、少子化、近隣関係の希薄化により、子育てに対する不安や負担は重くなっているが、親子がいつでも自由に行け、安全で安心出来る居場所を提供できる場所となっている。このうち「のび〜すく青柳」は地元の大型スーパーマーケットの協力のもとテナント施設の一角に設けられたものであり、買い物や歯科医院に通院する際に利用しやすいという利用者のメリットがある。そこに子育て経験豊富なシルバー会員が子育てに悩む母親などをサポートすることで、地域の子育て支援と高齢者の就業機会の両立を図るという工夫が見られる。</p> <p><b>☞事例1「草加市シルバー人材センターの取組」（親子のひろばのび〜すく青柳）参照</b></p> <p>② ちょこっと手助けサービス<br/> 高齢者や障がいのある方の日常生活上のささやかな手助けをする“ちょこっと手助けサービス”を平成24年7月より実施。ご利用料金は、500円（1人・30分程度）</p> |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>お買い物の代行や、簡単なお掃除、朝のゴミ出し、電球の交換など、ちょっとした手助けがほしい高齢者への手助けサービスとして「ちょこっと手助けサービス」を開始した。</p> <p>これは、一方で「草加市高齢者地域見守りネットワーク」へ協力する手段としても有効であり、シルバー会員の就業機会の提供と高齢者の地域見守りを同時に達成できるという工夫が見られる。</p> <p><b>☞事例1「草加市シルバー人材センターの取組」（ちょこっと手助けサービス）参照</b></p> <p>③生活援助（基本・継続）サービス</p> <p>共働き家庭・高齢者世帯等の希望に合わせた家事援助サービスや子育て世代の子どものお世話等のお手伝いを実施。</p> <p>④草加市認知症高年者家族やすらぎ支援</p> <p>やすらぎ支援員養成講座を受講した会員及び市民が認知症高年者のご家庭へ訪問して傾聴する“草加市認知症高年者家族やすらぎ支援事業”を草加市より受託。やすらぎ支援事業とは、認知症高年者を介護するご家族が外出時や介護疲れで休息が必要なときにやすらぎ支援員が高年者の居宅を訪問して、ご家族に代わって見守りや話相手になることでご家族の身体・精神・経済的負担の軽減を図ること、また認知症高年者の相談相手になることで、孤独感や不安の軽減により、在宅ケアの継続・向上を図っているサービスである。一回2時間までを限度として、週2回まで利用できる。</p> <p><b>2) 介護関連事業</b></p> <p>①訪問介護サービスなの花</p> <p>基準該当居宅サービス（訪問介護サービス）を実施。生活援助を中心に支援</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>①リフレッシュサイクル</p> <p>草加市より払下げされた自転車を修理しリサイクルして販売。修理も可。作業場は事務局の隣の建物</p> <p>②襖・障子張替</p> |
|--|--|---|

|   |               |  |
|---|---------------|--|
|   |               | <p>襖・障子を張替、作業場は事務局に隣接</p> <p>③少人数学習教室<br/>元小中学校教員や塾の講師等の会員による学習教室<br/>・小学生コース 国語・算数・英語（一部） 教室：手代町・旭町教室<br/>・中学生コース 数学・英語 教室：手代町・旭町教室</p> <p>④ヘアーカットサービス<br/>理容師資格のある会員によるヘアーカットサービス。会員の福利厚生（会員対象）として実施</p> <p>⑤カルチャー教室<br/>会員の特技を活かした各種カルチャー教室(水彩画・中国語・詩吟・写真・卓球・マクラメ編み・英語・パンづくり・毛筆細字)を実施</p>   |
| 2 | 福井市シルバー人材センター | <p><b>1) 介護保険事業</b></p> <p>①通所介護事業（日だまりの家）<br/>要支援または要介護状態にある高齢者等に対して、デイサービスとして、日常生活の援助、口腔ケア、機能訓練サービス、入浴サービス、食事サービスなどを提供している。<br/>＜工夫している点＞<br/>この拠点となる場所が「ひだまりの家」である。約二千坪の敷地に日本家屋と広い庭がある、閑静な環境でゆったり過ごせると利用者の好評を得ている。この不動産物件は自治体に物納されたものを借り受けたものである。高齢者が喜んで来るデイサービスとなっている点で工夫が見られる。<br/><b>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」（介護と子育て支援の拠点「日だまりの家」）参照</b></p> <p><b>2) 福祉・家事援助・育児</b></p> <p>① 高齢者宅、産前産後等の子育て中の家庭への家事サービス<br/>② 子ども一時預かり事業(日だまりの家・えくぼ・のびのび)<br/>当施設は安心して乳幼児を預けられるシルバーママサービスを行って</p> |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <p>る。子供を子育て経験が豊富なシルバー会員が一時的に預かることで、お母さんが上手にストレスを解消させる手助けをする子育て支援事業を行っている。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> 地域の子育て支援と高齢者の就業支援をうまく組み合わせる工夫が図られている。</p> <p><b>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(介護と子育て支援の拠点「日だまりの家」)参照</b></p> <p>③市の子育て支援、軽度生活支援事業の受託</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>①しめ縄製作・販売(しめ縄作業所)</p> <p>正月に飾るしめ縄を伝統的な事業として、「ひだまりの家」の別棟で行っている。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> 福井地方に伝わる作り方を伝授し、伝統を守ると共に、シルバーの独自事業の一環としてしめ縄作りを行っている。</p> <p><b>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(多様な独自事業の展開「しめ縄作り」)参照</b></p> <p>②さをり織り教室、さをり織り作品の製作・販売(ワークプラザ)</p> <p>「さをり織り」では「機械のマネはしない」ということをスローガンとしており、均一・均質、パターン化されたものから抜け出す織物を自分で創造的に作り出すという教室である。常識や既成概念から離れ、自由な発想と視点を大切にする。心を「無」にして織るアート作品である。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> 趣味と実益を兼ねたオリジナルの織物であるが、この独自の手織り作品を作る教室を運営しており、機織り機の使い方や、折り方などの指導も行ってい</p> |
|--|--|---|



|   |                |  |
|---|----------------|--|
|   |                | <p>る。高齢者の方の趣味と実益を兼ねた事業として工夫がなされた結果である。</p> <p><b>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(多様な独自事業の展開「さをり織り教室」)参照</b></p> <p>③ 着付教室、着付出張サービス<br/> ④ パソコン教室<br/> ⑤ 外国語教室(英語、中国語)<br/> ⑥ 牛乳パック再生による名刺等の作成・販売<br/> ⑦ 不要品の委託販売<br/> ⑧ 資源循環型農業講習会<br/> ⑨ EM ボカシ(土壌改良剤)の製作・販売、カブト虫の養殖・販売、門松製作・販売、衣類のリホーム・寸法直し<br/> ⑩ フリーマーケットでの委託販売</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> 商店街の空き店舗を活用することで、商店街の活性化を図ると同時に、不要品の処分と収益を還元することで事業を成り立たせ、同時に高齢者の就業支援と両立させている。</p> <p><b>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(多様な独自事業の展開「フリーマーケットでの委託販売」)参照</b></p> |
| 3 | 上田地域シルバー人材センター | <p><b>1) 就業促進開拓運動</b><br/> 「会員一人一開拓運動」を進めている。その結果、95人が177件に及ぶ開拓の成果を挙げており、うち一人10件の開拓を行った会員を表彰。一般家庭の就業実績で前年度比111.4%(平成24年度対平成23年度)を記録した。</p> <p><b>2) 福祉・家事援助・育児分野での就業開拓</b></p> <p>① この分野に適性が高い女性会員の拡大をめざした活動に力を入れている。<br/> ② J Aや社会福祉協議会と連携し、有償ボランティア連絡会を組織、連絡を取り合いながらコラボレーションを推進している。<br/> ③ 地元自治体に協力し、認知症の傾聴ボランティアを実施しているが、将来的に</p>  |

|   |               |  |
|---|---------------|--|
|   |               | <p>はシルバー事業として実施する方針。</p> <p>④ 地元自治体の指定を受け障害者総合支援法に基づく重度生活支援事業を実施している。</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>① 事業としてしめ縄作りを実施。現在はしっかり定着し高い実績。</p> <p>② 着物のリフォームは女性会員活動の一つであるが、高齢化が進み、後継者不足の問題がある。</p> <p>③ シルバー農園の野菜生産物を商店街振興に協力した朝市へ出品したり、会員向けに朝市を開催、販売。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>耕作放棄地を再活用するとともに農作業を基礎から教えて農業人口を増やそうとしている点、また更に耕作放棄地が発生するのは、農業の後継者が育たないからだという点から、子供体験教室を春、夏休みに開いて子供に農業を理解してもらうことで、将来の後継者を育てようという立派な目標を持っている。</p> <p><b>☞事例3「上田地域シルバー人材センターの取組」(シルバー農園)参照</b></p> |
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター | <p><b>1) 福祉・家事援助・育児</b></p> <p>福祉・家事援助・育児分野では市の事業（高齢者・障がい者安心生活支援事業）と連携を図り、高齢者・障がい者が地域や住まいで安心して日常生活が送れるよう1時間未満の軽易な家事援助サービスを実施。また、子育て支援分野では子育てが終わられた家庭で不要になった子育て用品（主に絵本、育児書、DVD等）を必要な家庭に無償で利用していただく子育て用品リサイクル、それから地域イベントでは昔遊びの伝承を目的とした育児支援を実施。</p> <p><b>2) 介護関連</b></p> <p>介護予防事業として健康体操教室、健康ウォーキングを実施。</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>① 剪定枝葉チップリサイクル堆肥の生産販売</p> <p>剪定作業で発生した膨大な量の枝葉を集積したものを、機械でチップ化し、発酵菌を混合し半年かけて熟成させ、堆肥を作成する。これを袋詰めして商品</p>                                   |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>(商品名：コンポ水口 2000) 化し販売している。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>剪定事業で不要となった剪定済枝葉を単にゴミとして捨てるのではなく、肥料として、再活用することで更に収益を上げようという点で良く工夫されている。</p> <p><b>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(剪定枝葉チップリサイクル) 参照</b></p> <p>② 甲賀野菜の栽培販売</p> <p>新鮮で安全・安心な農産物への需要は高く、生産者の顔の見える地元新鮮野菜に対して、消費者ニーズは年々高まっている。生産履歴がしっかりと記帳された野菜を甲賀野菜として、シンボルマークを付けて出荷することで、インパクトのある形で、消費者に届けられる様にしている。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>シルバー世代の生きがい対策、就業拡大を目指して、耕作放棄地を活用すると共に従来の有機肥料の取り組みから、滋賀県の推奨する「環境こだわり農産物認証制度」(化学合成農薬および化学合成肥料の使用を現行の5割以下に削減し、周辺環境への負担軽減を図る制度)によって年間を通じて安定供給できるようにした。この四季まんてん甲賀野菜のブランド化で消費者の満足度も高い。このようにして生産されたブランド野菜は、地元直売所だけではなく、シルバーネットワークを使い、京阪神の市場への出荷を図っている。</p> <p><b>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(四季まんてん甲賀野菜ブランド化推進事業) 参照</b></p> <p>③ 地域特産品「かんぴょう」の栽培販売</p> <p>休耕田等を利用して甲賀市の特産品である『かんぴょう』の原料となる夕顔を栽培、育った実を加工・天日干したものを製品として地域の方々に販売している。</p> |
|--|--|--|

|   |               |  |
|---|---------------|--|
|   |               | <p>&lt;工夫している点&gt;<br/>       衰退する地元産業の活性化と伝統産業の伝承に貢献すると共に高齢者の就業支援を行っている点は創意工夫点として十分に評価出来る。</p> <p><b>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(四季まんてん甲賀野菜ブランド化推進事業) 参照</b></p> <p>④かんぴょうを原料としたゆうがお茶の販売<br/>       かんぴょうを原料としたゆうがお茶も生産・販売している。地元商工会女性部を離れ、新たに立ち上げた『ゆうがお會』が企画・製造する『ゆうがお茶』の原料として「かんぴょう」を提供する事で、地元の素材を活かした地元ブランドの普及に協力。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/>       近隣シルバーとのネットワークを活かしてゆうがお茶の新たな販売ルートの拡大にも協力し、地元産業の活性化を図っている。</p> <p><b>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(四季まんてん甲賀野菜ブランド化推進事業) 参照</b></p> <p>⑤カサブランカ等花類栽培・販売<br/>       ⑥手作り布ぞうり製作・販売<br/>       ⑦古布を利用したリメイク手芸品製作・販売</p> |
| 5 | 守口市シルバー人材センター | <p><b>1) 福祉・家事援助・育児</b></p> <p>①老健施設入居者の家族に代わっての衣類等の洗濯<br/>       介護老人保健施設と提携して、身寄りのない入居者など身の回りのことが出来ない方の衣類の洗濯、買い物、掃除などを担当する。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/>       地域の介護老人福祉サービスの向上と共に高齢者の就業の機会を確保できる事業としての創意工夫が見られる。</p> <p><b>☞事例5「守口市シルバー人材センターの取組」(病弱者等福祉サービス) 参照</b></p>   |

|   |               |   |
|---|---------------|---|
|   |               | <p>②託児ルーム「ララキッズ」での一時保育事業<br/>         ③障害を持つ児童の学校行事でお世話をするスクールヘルパー事業</p> <p><b>2) 介護関連事業</b></p> <p>①介護保険事業の訪問介護<br/>         訪問介護サービスを提供している。ベテランの主婦が行っているため、調理などにも自信があり、非常に限られた食材しかない場合でも、何品も作って利用者に喜ばれている。<br/>         &lt;工夫している点&gt;<br/>         地域への介護サービスの提供と高齢者の就業機会の確保の両立を図れるように創意工夫をしている。</p> <p><b>☞事例5「守口市シルバー人材センターの取組」(訪問介護事業) 参照</b></p> <p>②障がい者総合支援事業での「居宅介護」「外出援助」</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>①パソコン教室<br/>         ②着付け教室<br/>         ③そろばん教室<br/>         ④おさらい教室</p> |
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター | <p><b>1) 福祉・家事援助・育児</b></p> <p>①みどり保育園の運営(月極、延長、一時預り、休日、体験の各保育)<br/>         認可外保育施設として月極保育事業を行っている。保育士資格をもつ12人を臨時・パート職員として採用。その他、保育にあたる会員12人、調理担当の会員4人、清掃担当の会員5人が就業している。子供の人数は0才から5才までの50人。利用者には隣接する市民病院勤務の看護師が含まれるが、夜勤、準夜勤の時は夜間保育、子供が病気の際は病児保育まで引き受けている。課題はコストであり、公的補助のある認可保育所の認可を目指している。<br/>         &lt;工夫している点&gt;<br/>         若い女性の社会進出を側面から支えることと同時に、高齢女性会員に適した仕事を見つけて組み合わせることを達成している。しかも会員の殆どが生きがいを</p>   |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>感じているとのことである。</p> <p><b>☞事例6「伊丹市シルバー人材センターの取組」(保育園の運営) 参照</b></p> <p>②他保育所における保育補助<br/> ③園児の送迎、子供の見守り<br/> ④夜間託児(病院関係)<br/> ⑤行事、会議等における子供の見守り<br/> ⑥保育所での保育サポート<br/> ⑦掃除(各部屋、風呂、トイレ、台所、換気扇、庭他)、片づけ、布団干し、敷地内除草、散水、洗濯、買い物、食事、食事介助、トイレ誘導、話し相手<br/> ⑧ごみ当番、家具の移動、電球取替え等<br/> ⑨高齢者の見守り、相談、サポート(市営住宅)</p> <p><b>2) 介護保険事業</b></p> <p>①シルバーデイサービスセンターの運営(通所介護、介護予防通所介護)<br/> ②介助、通院同行、見守り、話し相手<br/> ③散歩(車いす)</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>①デイサービスセンター<br/> ②売店事業(昆陽池売店、スカイパーク売店)<br/> 伊丹市内の「昆陽池」公園内の売店で、公園を訪れる人たちに飲み物、菓子、アイスクリームなどを販売している。現在は女性会員が8名で運営している。また、大阪国際空港(伊丹空港)の隣接地公園スカイパークの売店でも女性が9人で運営している。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> 高齢女性の就業支援として適した仕事を斡旋していること、地域社会への貢献を実施していること。</p> <p><b>☞事例6「伊丹市シルバー人材センターの取組」(女性の就業機会の拡大) 参照</b></p> |
|--|--|--|

|   |               |   |
|---|---------------|---|
|   |               | <p>③食堂運営(「シルポ大学」、「市立伊丹高校」)<br/> 大阪芸術大学短期大学部の喫茶および食堂、市立伊丹高校での食堂等学園内店舗の運営を行っている。シルポとはシルバーパワー (SILVER POWER) の略称である。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;<br/> シルバー世代と若い世代の交流をめざして世代間コミュニケーションを図り、かつ地域社会への浸透も図っていること。</p> <p><b>☞事例6「伊丹市シルバー人材センターの取組」(女性の就業機会の拡大)参照</b></p> <p>④自転車リサイクル事業<br/> ⑤リサイクルショップ事業<br/> ⑥チップ化事業<br/> ⑦水彩画教室<br/> ⑧子供英会話教室<br/> ⑨成人英会話教室<br/> ⑩琴教室<br/> ⑪書道教室<br/> ⑫着付教室<br/> ⑬和裁教室<br/> ⑭手内職<br/> ⑮フラダンス教室<br/> ⑯ウクレレ教室<br/> ⑰三味線教室</p> |
| 7 | 府中町シルバー人材センター | <p><b>1) 福祉・家事援助・育児</b><br/> 子育て支援事業(産後の家事支援)、ファミリーサポートセンターと連携した子育て支援(幼稚園、保育所、小学校などへの送迎、児童等の一時預かり)</p> <p><b>2) 介護関連</b></p>  |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>①入会員の就業先の拡大のため、民間の教育機関等の受講を勧め介護分野の雇用の需要に応じるため平成11年度から高齢者のサテライト型のデイサービスを開始。</p> <p>②介護予防事業として平成13年度からシルバーサロンの利用者に高齢者の転倒防止教室を開始。</p> <p><b>3) 独自事業</b></p> <p>①シルバーママサービス（子どもの一時預かり）</p> <p>②ふれあい喫茶「椿庵」</p> <p>③介護予防体操「お達者クラブ」</p> <p>④町内イベント出店事業（祭り参加）</p> |
|--|--|--|

#### 1-2 就業開拓に関する工夫（企画提案事業等、自治体との連携）

| 番号 | 名 称           | 工夫内容  |
|----|---------------|---|
| 1  | 草加市シルバー人材センター | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>① いきいき子育て応援事業（平成21年4月～平成24年3月）<br/>シルバーボランティア農園で保育園児等と農作物の植付や収穫する活動、また保育園でチューリップを保育園児と共に育てる活動を通して世代間の交流を深める事業。</p> <p>② 地域ささえあい生活援助サービス事業（平成21年4月～平成24年3月）<br/>定期的に訪問する福祉・家事援助サービスを行う「生活ほっと支援サービスあしたば（現・生活援助継続サービス）」及び単発的・短期的に家庭内のお手伝いを行う「暮らし応援サービス（現・生活支援基本サービス）」を積極的に推進し、市民の生活を支援する事業。生活支援基本サービスは「換気扇・窓などのお掃除」「家事手伝い」「通院介助」「家具の移動」など一時的なサービスである。この他に継続サービス（週2回・1回2時間以上）では、「日常の家事お手</p> |



|   |                |   |
|---|----------------|---|
|   |                | <p>伝い」「食事作り」「洗濯」「お掃除」「お買い物」等が依頼出来る。</p> <p>③ リフレッシュサイクル事業（平成 22 年 4 月～平成 25 年 3 月）<br/>草加市より払下げを受けた放置自転車を分解して修理し、組み立てて販売（再利用）し、ゴミの減量化を進める事業。</p> <p>④ ちょこっと手助けサービス事業（平成 24 年 4 月～平成 27 年 3 月）<br/>65 歳以上の高齢者や障がいのある方のご家庭の、買物・お掃除・ごみ出し・電球交換等の日常生活上のささやかな手助けを通して、市民の生活を支援する事業。利用料金はワンコイン（30 分 500 円）で安価に依頼できる。利用例としては「お買い物」「簡単なお掃除」「植木の水やり」「朝のゴミ出し」「電球・蛍光灯の交換」等である。</p>   |
| 2 | 福井市シルバー人材センター  | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>①「特別支援教育推進事業」：修学前の発達障害児を対象に集団適応指導、一般対象のセミナーを開催</p> <p>②「中心市街地活性化事業」：駅前中心市街地の空き店舗を活用した高齢者が気軽に立ち寄れるサロンの運営</p>  |
| 3 | 上田地域シルバー人材センター | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>①「遊休農地を活用した地産地消推進事業」<br/>自治体と連携して平成 24 年度から実施している。平成 25 年度からは市民農園管理を受託し、市民の農業への取り組みを支援している。</p> <p>②こども体験教室<br/>この事業は遊休荒廃農地を活用し、子供の収穫体験や農業教室により後継者育成を支援するとともに安心安全な地産地消運動の推進を図ることを目的としている。現在は子育て支援の一環としてこども体験教室を開始し、こどもを対象に地域に好評を得ており、毎年延べ 6～8 回開催。学校ではなかなか体験できない事業を意図的に加えることによって、子供たちも興味をもって積極的に参加。</p> <p><b>2) その他の連携</b></p> <p>①マレットゴルフ場（2ヶ所の指定管理を受注）</p> <p>②生活保護者への優先的就業斡旋</p> |

|   |               |  |
|---|---------------|--|
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>①四季まんてん甲賀野菜！ブランド化推進支援事業<br/>地域の耕作放棄地や会員所有の畑を利用して、化学肥料や農薬を通常の半分以下に削減し、環境への負荷を削減する目的で栽培した環境こだわりの野菜を地域はもとよりシルバーネットワークを通じて都市部のセンター等で販売、栽培規模拡大、ブランド化推進、都市部センターとの交流、会員の生きがい対策、就業機会の確保に努めている。</p> <p>②暮らしと住まいのお手伝い！シルバーサポート事業<br/>高齢者・障がい者世帯が住み慣れた地域や住まい（家）で安心して日常生活が送れるよう市の地域包括支援センター及び各地域市民センターと連携して1時間未満の軽易な家事援助サービスを実施している。</p> <p>③生涯現役！生涯学習！生き生き生活支援事業<br/>会員が永年培ってきた豊富な知識・経験、技能、特技を活かし講師やスタッフとして就業、ワークプラザ等を利用してパソコン教室や障子・襖の張替え教室、布ぞうり製作教室、華道書道教室、指編み教室、体操教室など利用者のニーズに対応したカルチャー教育事業を展開している。</p> <p><b>2) 自治体連携事業</b></p> <p>①市内公共施設の受付清掃等管理業務<br/>②駅前駐輪場の管理<br/>③公園等の清掃、剪定、除草、街路樹の剪定<br/>④クリーンパトロール他</p> <p><b>3) その他の自治体連携</b><br/>市の開催する生涯学習のイベントに共催にて参加、指定管理施設6施設の運営管理。</p> |
| 5 | 守口市シルバー人材センター | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>①農業支援・野菜苗販売・社会参加・世代間交流<br/>②子育てママのスキルアップ事業と寺子屋事業<br/>③子育て相談事業とワイワイ教室と出前教室<br/>④公園環境整備とシルバーレンジャー事業</p>   |

|   |               |   |
|---|---------------|---|
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>①緑のリサイクル事業<br/>剪定屑を再利用しチップ化(土壌改良剤)し、ゴミの減量、温暖化防止、資源化に寄与。</p> <p>②シルバー地域農業応援事業<br/>会員が地元で栽培収穫した野菜を販売し、地産地消を推進する。会員の農業活動を通じて地域の農業活性化に繋げる。</p> <p>③シルバーから広める伊丹の魅力・深める伊丹の歴史事業<br/>講座等の開催により伊丹の魅力を発信する。同時に伊丹ウォーキングを絡めて伊丹の史跡・文化財等を紹介。</p> <p><b>2) 自治体連携事業</b></p> <p>①サンシティホール管理<br/>②自転車駐車場管理<br/>③市役所内駐車場管理</p> <p><b>3) その他の自治体連携</b></p> <p>①市のイベント事業に併せてシルバーのブースを確保してもらい販売やPRを実施<br/>②特定随意契約に係る案件など各担当部局への折衝・通知等の徹底</p> |
| 7 | 府中町シルバー人材センター | <p><b>1) 企画提案事業</b></p> <p>①よい子の森（野外での子ども一時預かり）<br/>デンマークやドイツで積極的に実施されている「体験型保育」を取り入れた屋外型のシルバーママサービス事業「よいこの森」を実施。<br/>単に公園に行って保育を行うのではなく、四季折々のテーマを踏まえた架空のストーリーをたどりながら、子供たちと楽しく府中町内の公園を訪れることで子供の一時預かりを行っている。実施は毎月一回で、対象年齢は1歳～未就学児童を対象にしている。</p> <p>②くすのきプラザコミュニティサロンの企画運営<br/>「椿庵」のある多目的施設くすのきプラザでコミュニティプラザの運営を行っている。内容としては「地産地消の軽食の提供」「府中町公衆衛生協議会への</p>   |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <p>廃油せっけんの材料の提供」「マイ箸運動の推進」「町民参加事業ハッピーボックスの推進」「椿庵でのワンデイシェフ体験」「児童の野外一時預かり（よいこの森）への食育協力」「ホームページへのオリジナルメニューの掲載」などである。</p> <p>③メンズサロン（男性専用介護予防事業）</p> <p>いままで生きがい型のデイサービスの主流は女性好みの企画が多く、男性の利用が少なかったため、男性利用者を対象にした生きがい型の事業に取り組むこととしたもの。支援通所事業としてメンズサロンを開催。内容は「血圧チェック」「マシントレーニング」「健康麻雀」「カードゲーム」「地域の話」などである。</p> <p><b>2) その他の連携</b></p> <p>①町内公共施設の管理・清掃<br/>     ②駐輪場の管理<br/>     ③町内公園・遊園の清掃・剪定など維持管理・受付事務<br/>     ④高齢者生きがい活動支援通所事業<br/>     ⑤高齢者筋力向上トレーニング事業<br/>     ⑥高齢者軽度生活援助事業</p> |
|--|--|---|

**2 利用勧奨の取り組みに関する工夫**

| 番号 | 名 称           | 工夫内容  |
|----|---------------|---|
| 1  | 草加市シルバー人材センター | <p>①お客様担当（就業開拓創出員）を2名配置<br/>         市内の民間事業所の訪問活動を中心とし、新規業務の受注をめざす。</p> <p>②理事の発注者訪問活動<br/>         既存発注先の訪問活動を行い（年3回）、発注先との良好な関係を構築。</p> <p>③会員によるチラシのポスティングやポスター掲示<br/>         “ちょこっと手助けサービス”グループが、4つの地域に分かれ、会員個人によ</p> |

|   |                |  |
|---|----------------|--|
|   |                | <p>るポスティングや地域の会員が集まって地域を決めてポスティングを実施。会員の協力により、家庭向け仕事内容のポスターを会員自宅前やマンションや町会の掲示板に掲示。</p> <p>④草加市広報への掲載<br/>“ちょこっと手助けサービス”等について、草加市広報へ掲載。</p>   |
| 2 | 福井市シルバー人材センター  | <p>①会員地区組織によるチラシの配布</p> <p>②除草、植木剪定従事会員による就業先近辺へのチラシの配布</p> <p>③就業開拓員、業務推進員による事業所訪問</p>  |
| 3 | 上田地域シルバー人材センター | <p>①地域に根ざし、隣近所と連携した就業を開拓すべく、役員・会員が一丸となって「会員一人一開拓運動」を推進、一般家庭の就業実績の大幅アップを実現。</p> <p>②各地区でのイベント開催時にビデオ紹介、パンフ、ノベルティ配付などでシルバーの知名度向上や就業案内を実施。</p> <p>③顧客へ毎年カレンダーを配付し、日頃のご愛顧を感謝するとともに利用促進の働きかけを実施。</p> <p>④お客様への満足度調査を実施、就業への反応を把握するとともに更なるご愛顧をお願いしている。</p> |
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター  | <p>①雇用就業機会確保推進員を活用し、シニアの方を対象にハローワーク窓口で相談業務やシルバー人材センターセミナーを実施。</p> <p>②年2回（8月、1月）に市内全戸に配布する広報紙「シルバーこうか」、毎月発行の会報紙「シルバーだより」を活用。</p> <p>③市内各地域で開催されるイベント等への参加や各マスコミ等への取材協力をすすめる中で活動内容を啓発周知。</p>  |
| 5 | 守口市シルバー人材センター  | <p>① 就業訪問員を設置し、家庭を中心に仕事の出来栄への聞き取り調査をする際に、他の仕事についてもPR。</p> <p>② 理事による事業所訪問の実施。</p> <p>③ 各種チラシ及び「センター便り」を作成・送付し、広報している。</p> <p>④10月に「シルバーフェア」を開催。市広報誌に開催案内と、チラシ（裏面はシ</p>   |

|   |               |  |
|---|---------------|--|
|   |               | ルバーの PR) を町会回覧板で回付。  |
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>①中心市街地での街頭活動</li> <li>②FMいたみによる広報</li> <li>③シルバーフェスティバルやシルバー文化作品展開催による PR</li> <li>④地域班を中心とした清掃奉仕活動による PR</li> <li>⑤植木剪定・除草作業について、翌年分の事前予約はがきを送付</li> <li>⑥就業開拓員等による商工会議所企業リスト等からの企業訪問や家庭訪問をするなど新規就業機会の開拓、PR を実施</li> <li>⑦チラシの配布</li> <li>⑧ホームページでの情報提供</li> </ul> |
| 7 | 府中町シルバー人材センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>①広報紙「安芸府中シルバーだより」を年 1 回発行し、町内全戸に配布。</li> <li>②社会福祉協議会、町内会連合会に出席して入会促進や就業開拓を実施</li> <li>③企業訪問により就業開拓</li> <li>④会員による入会勧誘・リピーター獲得のため声掛け</li> </ul>  |

### 3 会員への仕事の配分方法の工夫

| 番号 | 名 称           | 工夫内容  |
|----|---------------|---|
| 1  | 草加市シルバー人材センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>①就業交代制度<br/>平成 24 年度実績：交代時期（10 月及び 4 月）計 52 箇所 62 名の就業交代を実施。</li> <li>②しごと情報の発行<br/>平成 24 年度実績：年間 19 回発行（毎月 2 回発行。発行日は 10 日と 25 日）。</li> <li>③就業期限の設定に関する基準において、同一職種、同一就業先に年間を通じて就業する会員は原則として 3 年を限度として他の会員と交代。</li> </ul> |

|   |                |   |
|---|----------------|---|
| 2 | 福井市シルバー人材センター  | <p>①就業交代制(公共部門)の実施<br/>         ②未就業会員への優先的就業提供</p>   |
| 3 | 上田地域シルバー人材センター | <p>①一人でも多くの会員に就業してもらうため、未就業会員へ優先的に声をかけている。<br/>         ②一人一開拓運動では自分のできる仕事を開拓することを勧めている。<br/>         ③適正就業の徹底と就業基準による就業年数遵守を励行している。<br/>         ④新入会員を中心とした就業紹介・瞬時斡旋のため、携帯メールを活用した就業情報提供を行っている。<br/>         ⑤シルバーだよりの掲載やテレホンサービスでも就業情報提供を行っている。<br/>         従来のパンフレットや、電話だけでなく、携帯の一斉メールも導入が図られている。<br/>         ★創意工夫されている点<br/>         発注者から仕事を受注した場合、予め携帯メールを登録している会員に一斉メールを送信する仕組みを導入した。これにより、事務の効率化、就業機会提供の公平性、時間の効率化などが図られている。<br/> <u>☞事例3「上田地域シルバー人材センターの取組」(携帯メールを活用した連絡体制づくり)参照</u></p> |
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター  | <p>①出来る限り公平な就業機会が得られるよう毎月発行する会報紙「シルバーだより」にて就業情報を掲載。<br/>         ②適正就業基準を設けてローテーション就業、長期就業の是正を図るよう推進。</p>   |
| 5 | 守口市シルバー人材センター  | <p>①毎月、理事が相談員となり、就業相談会を実施し、会員の詳細な希望等を聴き取り、就業提供に役立てている。<br/>         ②「公開受注簿」で、受注状況を常に公開している。事務局便りで、就業会員を募集している。</p>   |

|   |               |   |
|---|---------------|---|
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター | ①入会時の希望職種に基づき就業相談を実施し、適する仕事があれば紹介<br>②月曜日から金曜日まで毎日就業相談を実施し、来館者に募集中の業務を斡旋  |
| 7 | 府中町シルバー人材センター | ①入会説明会終了後、職員が個人面談を実施。これまでの職歴、特技・趣味、入会后希望する職種、受講したい研修、体験就業の希望の有無を確認。<br>②就業体験希望者には管理、介護、子育て、清掃、など就業体験を通して、できる限り早期に何かの就業に就けるように努めている。<br>③これまで就業している会員にはワークシェアリングの理解を深め、出来得る限りローテーション就業を推進している。 |

#### 4-1 その他参考（会員の能力向上のための講習・研修会の開催状況）

| 番号 | 名称            | 工夫内容  |
|----|---------------|---|
| 1  | 草加市シルバー人材センター | <p>①新会員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12回開催 290名参加</li> </ul> <p>②リーダー合同研修会：1回 211名参加</p> <p>③しごと体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網戸張替体験会：2回 20名参加</li> <li>・ 植木剪定体験会：1回 5名参加</li> <li>・ 自転車組立・修理体験会：2回 7名参加</li> <li>・ 襖障子張替体験会：2回 13名参加</li> <li>・ 換気扇クリーニング体験会：1回 12名参加</li> <li>・ 刈払機取扱体験会：1回開催 12名参加</li> </ul> <p>④就業分野ごとの会員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館管理パソコン講習：2回 11名参加</li> <li>・ コミュニケーション講習：2回 102名参加</li> <li>・ 普通救命講習（AED講習）：3回 54名参加</li> <li>・ 植木剪定スキルアップ研修：1回 16名参加</li> </ul> |



|   |                |  |
|---|----------------|--|
|   |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちょこっと手助けサービス」会員研修会：1回 82名参加<br/>(以上、平成24年度実績)</li> </ul>  |
| 2 | 福井市シルバー人材センター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①福祉・家事援助サービス初級講習</li> <li>②軽度生活支援事業講習会</li> <li>③クリーンサービス研修</li> <li>④料理講習、筆耕講習</li> <li>⑤襖・障子張り講習</li> <li>⑥宛名書ソフト講習</li> <li>⑦門松作り講習</li> <li>⑧植木剪定講習</li> <li>⑨就業ヘルパー研修</li> </ul> |
| 3 | 上田地域シルバー人材センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>①後継者育成・技能向上のため、草刈り講習会等を実施。25年度はチェーンソー講習も計画している。</li> <li>②「女性班きずな」ではガーデニング・フラワーアレンジメント、料理講習会を開催している。</li> </ul>   |
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①交通安全講習会</li> <li>②草刈機取扱講習会</li> <li>③人権研修会</li> <li>④役員研修会</li> <li>⑤フラワーアレンジメント講習会</li> <li>⑥美容講習会</li> <li>⑦緑地管理講習会</li> </ul>   |
| 5 | 守口市シルバー人材センター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①農業支援研修(稲作・野菜苗)</li> <li>②子育て支援員研修</li> <li>③屋外器具の取扱講習会</li> <li>④訪問介護員研修</li> </ul>  |

|   |               |  |
|---|---------------|--|
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター | ①刈払い機等屋外器具取扱講習会<br>②企画提案に関する講習会<br>③屋外器具の取扱講習会<br>④交通安全講習会<br>⑤救急救命講習会<br>⑥接遇研修会 |
| 7 | 府中町シルバー人材センター | ①よい子の森（野外での子ども一時預かり）フォーラム<br>②介護予防講座<br>③剪定講習会<br>④高齢者の健康講習会                     |

#### 4-2 その他参考（シルバー人材センターの活動状況）

| 番号 | 名称            | 工夫内容  |
|----|---------------|---|
| 1  | 草加市シルバー人材センター | <p>① シルバー人材センターまつりの開催<br/>毎年、シルバー普及啓発月間（10月）に「シルバー人材センターまつり」を開催、平成25年度で14回目。会員、市民、のび～すく利用の親子等、大勢がつどい、会員同士の親睦交流や多くの市民や子どもたちとの交流を通して、センターのPRを積極的に実施。会員（仕事別グループやサークル）による模擬店（日本蕎麦・やきそば・やきとりなど）を出店し、ステージではのび～すく親子によるダンスやコーラスサークルによる混声合唱など、様々な楽しい催しである。また、まつりの収益は草加市被災者支援金に寄付。</p> <p>② ゴールド会員制度<br/>毎月の定例会や季節の催し（観桜会・交流会等）を実施し、高齢会員の交流活動を積極的に実施。</p> <p>③ チューリップいっぱい活動<br/>ボランティアとして、保育園で子どもたちとチューリップの球根植付や水やりなどを実施。世代間交流の場として、会員も子どもたちも楽しく参加してい</p> |

|   |                |  |
|---|----------------|--|
|   |                | <p>る。</p> <p>④シルバーボランティア農園<br/>         シルバーボランティア農園で、保育園児とじゃがいもの種芋植えや収穫。世代間交流の場として、会員も子どもたちも楽しく参加。さらに、最近土いじり（農業）は貴重な体験の場として、保護者からも評価が高い。</p> <p>⑤ 女性活躍推進委員会<br/>         男女問わず参加できる“シルバー説明会”の他に、“女性のための説明会”を開催。“女性のための説明会”では、通常の説明だけでなく、折り紙講座などのプラスアルファの楽しい企画も実施。</p> |
| 2 | 福井市シルバー人材センター  | <p>①ホワイトカラー層退職者の対策としては、派遣事業の拡大。</p> <p>②未就業会員対策として入会后半年間未就業の会員に対して面談会を毎月実施し、希望職種等を確認。</p> <p>③顧客満足度調査を実施。</p>  |
| 3 | 上田地域シルバー人材センター | <p>新しい仕事の情報を配信するのに電話サービスとして携帯で会員に送信している。このサービスによって、緊急の仕事の受注にも成功している。例えば、草むしりの仕事では、15人から20人のグループで、2～3日で仕上げるが、グループ内での人間関係にトラブルが発生したときは、グループの組み替えなどを行うことで調整している。</p>  |
| 4 | 甲賀市シルバー人材センター  | <p>選挙関連（立会人、公報封入発送）、統計調査など公共関連の事務系職種で市の職員以外でも出来る仕事は出来る限りセンターでの仕事として発注いただくよう依頼している。</p>   |
| 5 | 守口市シルバー人材センター  | <p>会員の高齢化が進み、年齢に関係なく能力で就業できる場の確保に取り組み始めている。「マンション清掃班」「農業支援班」を発足し、高齢会員の就業機会を広めている。</p>  |
| 6 | 伊丹市シルバー人材センター  | <p>① 市のイベント事業に併せてシルバーのブースを確保し販売やPRを実施。</p> <p>② 特定随意契約に係る案件など各担当部局への折衝・通知等を徹底している。</p>   |
| 7 | 府中町シルバー人材センター  | <p>会員増に向けて、新規の会員に対しては、初めての仕事に就くことの不安を取り除くために以下のような工夫を行っている。</p>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>① 最初の入会説明会の時に良く説明をして仕事の内容につき理解を得る。</li><li>② 講習会では先輩が後輩に親切・丁寧に教える。</li><li>③ 入会当初は簡単な仕事を受け持ってもらって徐々に仕事に馴染めるように配慮。</li><li>④ 元ホワイトカラーの方々には新規事業の取り組みとして、例えば「介護予防事業、子育て支援事業」等の事業の立ち上げなどにホワイトカラー時のノウハウを活かしてもらおうなどの工夫を行っている。</li><li>⑤ 年会費は 3,000 円であるが、必ず仕事に就けることで会費分の還元に努力している。</li><li>⑥ シルバーの職場では、現役時代の職場での地位や立場が逆転することも起こりえるケースもある。これらの人間関係の諸問題を解決するため、互助会、同好会などで融和を図っている。</li><li>⑦ 食堂や介護の仕事では安全衛生についての規約等があり、守らなければならないルールがある。そのため、厳しく注意することもあり、人間関係のトラブルとなることもある。そうしたトラブルに対して最後はセンター事務局で対応することになるが、こうした事態にも公平に対処している。</li><li>⑧ 会員の皆様に満足してもらえるように満足度調査を現在企画中。</li></ul> |
|--|--|

## 別添 2

### シルバー人材センター関係者のご意見・ご要望等一覧表

本調査では、シルバー人材センターにおける取組み好事例を紹介する他、加入会員、発注者（顧客）およびセンター運営者の皆様からシルバー人材センター事業運営にかかるヒアリングを実施したので、そのご意見（主たるもの）を以下に、紹介する。

| 番号 | 属性   | 関係者等のご意見・ご要望等   |
|----|------|---|
| 1  | 加入会員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 人と接することが好きなので水を得た魚のように喜んで働いている。（ふれあい喫茶「T庵」Nさん、F町）</li> <li>➤ 「ありがとう」「おいしかった」という利用者の声が聞けることが嬉しい（ふれあい喫茶「T庵」Aさん、F町）</li> <li>➤ お母さん達が買い物、お掃除や育児から解放されたいときお役にたてて、やり甲斐を感じます。（シルバーママサービス利用者、F町）</li> <li>➤ シルバー農園では、最初はほうれん草の収穫に包丁を使う人もいたが、リーダーの指導で今はそのようなこともなくなった。（シルバー農園リーダーNさん、U地区）</li> <li>➤ 「自分の家でも農業をやっているが、ここで新しい方法や技術を教えてもらって自分の畑でも応用することで本当に役に立っている。ここにきて良かったと思う。」（シルバー農園会員Sさん、U地区）</li> <li>➤ 「退職後の第二の人生はシルバーのお陰で充実した日々となっている。」（会員Kさん、U地区）</li> <li>➤ 子育て支援事業を「のびのび」などで担当しているが、お母さん方が自分で解決出来ない悩みを聞いてあげ、解消してあげている。F市は転勤族が多く、3～4年で変わる。しかし、赤ちゃん</li> </ul> |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <p>が産まれた時など、近所に知っている人もいない中で、支援を行い大変喜ばれている。小さな子供を抱えた若い母親への支援として、保育園への送迎、掃除、小さな子供の預かりなどがある。地元の方も多いが、ここでママ友を作り、広場で悩みを話せることで救われる母親も多い。安心して預けられることもあって人気が高く、この仕事にやり甲斐を感じている。(会員 J さん、F 市 S C)</p> <p>▶子育て支援事業「えくぼ」を主に担当しており、週 2～3 回勤務している。ここには保育園にはない良さがあり、このことは口コミで広がっている。自分はもともと保育士であるが、自分の経験が生かされており、いい仕事を提供して頂いてありがたい。預かった子供がミルクを飲んでくれ、笑顔をみるとやって良かったと感じる。(会員 H さん、F 市 S C)</p> <p>▶子育て支援事業を「日だまりの家」などで担当しているが、毎日がすごく楽しい。ここはリピーターが多いことが特徴であり、お子さんの成長が見れて嬉しい。お母さん方が感謝してくれていることが、非常に良いやり甲斐となっている。いい仕事をさせて頂いて本当に嬉しい。(会員 H さん、J さん、F 市 S C)</p> <p>▶ワークプラザで週一回食堂を担当しており、20 食を一人で作っている。若い人と年寄りの人との嗜好の違いがあり、献立作りに悩んでいる。きれいに完食してもらったとき、大いにやり甲斐を感じる。(会員 Y さん、F 市 S C)</p> <p>▶ヘルパーの資格があり、介護を担当しているが、時には救急車を呼んだり、倒れている利用者を助けたり、大変な場面もあるが、利用者の方が、「おかげさまで歩けなかったのが歩けるようになりました。ありがとうございます」と感謝の声を聞くとこの仕事をやって良かったと思います。(会員 T さん、F 市 S C)</p> <p>▶病院で介護の仕事をやっていたが、ヘルパー 3 級、その後 2 級の資格をとり、介護職に就いている。7 人を受け持っているが、この仕事のコツは被介護人とウマが合うかどうかである。ウマが合って頼りにされると嬉しくこの仕事をやって良かったと思う。(会員 S さん、F 市 S C)</p> <p>▶M 保育園で保育の仕事をして頂いています。園児たちと大切な時間を共に過ごせることは大変な部分もあるけれど、やり甲斐とパワーもいっぱいもらっています。(M 保育園、I 市 S C))</p> <p>▶「楽しい」「元気をもらえる」「やり甲斐がある」「子供から教えられることも多い」(M 保育園)</p> <p>▶シルバーにいるから出会い、人とのつながりが保てる。素晴らしいところ。(M 保育園、I 市 S C))</p> <p>▶感謝されることで仕事にはりができ、生きがいになっている。(M 保育園、I 市 S C))</p> |
|--|--|---|

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 仕事をするので生き生きとさせてもらっている。(M保育園、I市SC)</li> <li>▶ 何もしない毎日は退屈、シルバーに入会し仲間と共に働くことで元気に頑張れる。(M保育園、I市SC)</li> <li>▶ 仕事ができる喜びを実感できる。(M保育園、I市SC)</li> <li>▶ 仕事をするので規則正しい生活ができ体調が良くなった。(M保育園、I市SC)</li> <li>▶ 訪問介護サービスを担当している。調理もやるが、訪問先で限られた食材の中で行う。短時間で掃除もこなしている。若い人は買い物に行ってから調理をやる人が多いが、シルバー人材センターから来る人は皆ベテラン主婦が多く、白菜とキャベツだけでも3～4品作れる。介護される方も、なにより食事が楽しみなので、食事作りが大事である。利用者の意向に沿って役立つように頑張っています。(会員Sさん、M市SC)</li> <li>▶ 障害者支援サービスを担当している。いわゆるスクールヘルパーである。行事などがある時で、手が足りない時にアシストする。登校・下校時の移動支援を行っている。社会参加の喜びがあります。(会員Nさん、M市SC)</li> <li>▶ ランドリーサービスを担当しています。ランドリーサービスは近くのコインランドリーを使っている。家族が遠く離れている状況で、利用者は孤立しているため、コミュニケーションをとりながらやっています。また、出来るだけ本人の意見を聞きながらやっています。利用者の「待っていたよ。」の一言が支えとなっている。(会員Mさん、M市SC)</li> <li>▶ ちょっと手助けサービスで家事援助を担当しています。要支援1の介護度で、軽度の認知症の方の話相手になっています。週一回のサービスで3人を受け持っています。やすらぎ支援事業も担当しています。こちらは家族がいても、日中はひとりなので、話相手になっています。本人は勿論、家族の方にも喜んでもらっています。(会員Kさん、S市SC)</li> <li>▶ ちょっと手助けサービスで、知的障害のある方のお話し相手になっています。また、高齢者の方のお買い物やゴミ出しも行っています。利用者の皆さんが困っているときに手助けしてあげることで「ありがとう」と言われることが生きがいです。(会員Sさん、S市SC)</li> <li>▶ 「親子のひろば のび～すく」で働いています。子育てに疲れたときや、一緒に子育てする仲間が欲しいとき、友達と遊びたい子供の仲間がほしいとき、など小さな子供とお父さんお母さんなど、みんなが子供を遊ばせながら、出会った人たちとほっと一息つけるような場所です。ここでは子供の成長が見られることで、とてもやり甲斐があります。(会員HさんS市SC)</li> <li>▶ シルバー堆肥コンポを使ってかんぴょう栽培を開始して5年目になるが、本年から研修会への</li> </ul> |
|--|--|

|   |     |   |
|---|-----|---|
|   |     | <p>参加やコーディネータのアドバイスにより、品質の良いかんぴょうが、生産できるようになり、喜んでいる。来年は今年の反省点を班で検証して取り組みたい。(会員Sさん、K市SC)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ シルバーM班でニンニク・かんぴょうを栽培した。安全、安心な栽培の仕方を研修会で学べたことが非常に役だった。来年も消費者に喜んでもらえる品物を作っていきたい。(会員Iさん、K市SC)</li> <li>▶ 各種のイベントや公民館活動で、布ぞうきん作成や凧作りの講師をシルバー会員の仲間5、6人でしています。準備をして講習会に臨み、受講者の殆どの方が熱心に学ばれていますが、どうしてもその場限りとなってしまう、学んだ成果を地域で生かせるようになったらと考えます。(会員Yさん、K市SC)</li> </ul>   |
| 2 | 利用者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 安くておいしく、対応も親切で良く利用しています。(ふれあい喫茶「椿庵」利用者、F町)</li> <li>▶ 利用しやすい金額です。(シルバーママサービス利用者、F町)</li> <li>▶ もっと沢山の方に知ってもらい、利用者が増えると子供達も楽しいと思います。(シルバーママサービス利用者、F町)</li> <li>▶ 親子ともに楽しめるように工夫されていると思いました。(シルバーママサービス利用者、F町)</li> <li>▶ リンゴ園に人材を送り出しいただき心から感謝しています。皆さん明るく前向きな姿勢そして最高のチームワークでがんばっていただいたおかげでわずか3日間で終わらせることができました。(利用者Xさん、U地区)</li> <li>▶ お客様の「美味しかった」の一言は何よりの励みです。(農園芸グループ)</li> <li>▶ 健康の秘訣はとにかく食べることだが、シルバー人材センターの訪問介護員の方は調理がうまく本当に感謝しています。(M市)</li> <li>▶ 現在3名のヘルパーさんが交代で面倒を見ているが、いずれの方にも「大変感謝している」との声を聞くことが出来た。(利用者Sさん、M市SC)</li> <li>▶ ここでは利用者の母親世代の人たちが、面倒を見てくれるため、子供の相談とか、パパとのかかわり方など、幼稚園では相談出来ない様々なことが相談出来る。また、紙芝居や、昔ながらのわらべ歌など、シルバーの会員さんが一生懸命で、研究熱心であり、常に勉強する姿勢が伺</li> </ul> |



|   |             |   |
|---|-------------|---|
|   |             | <p>えてとても尊敬しています。(利用者Aさん、S市SC)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 会員所有地や耕作放棄になりつつある農地など、生産資源の有効活用が図られている。また、全国的なシルバーネットワークを活用した販売経路の開拓は安心な取引に発展する期待が持てる。(利用者Fさん、K市SC)</li> <li>▶ 過剰農薬散布を気にせず、安心して食べられ、また規格サイズを気にせず、育成した新鮮で美味しい野菜を作れるのは、シルバー人材センターの会員であればこそできる事業だと思います。健康が何よりと感じている会員の就業の場が広がり、特産品が食べられるという特典もあるいい事業だと思います。(利用者Tさん、K市SC)</li> <li>▶ 地域の特産品である「かんぴょう」を作り、販売するというまさに地産地消を実施されていて大変有意義なことと思います。(利用者Sさん、K市SC)</li> </ul>  |
| 3 | センター<br>運営者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業仕分けで事務局の経費が1 / 3カットされ困っている。県内 16,000 名、当センターでも 347 名の会員の支援をするのは全て事務局であり、ここが弱体化するとシルバー人材センターの仕事を支えることは難しい。これについては会員の活用も考えられるが、既存の会員のうちから選任することに対する不公平感や、会員として勤務させる場合の報酬等の関係もあり難しい。(F町SC)</li> <li>▶ 平成22、23年度2年間で補助金は1,380万円削減され、事業実績も低下し、800万円の赤字決算となった。このため自主財源を見直す必要性に迫られている。運営費の削減1,100万円、平成24年度会費を1,700円から3,500円に引き上げせざるを得ず、平成25年度事務費も8%から10%に値上げとなった。就業開拓努力も実施しているが、経営健全化のためには、削減された補助金の復活が必要であり、ご検討願いたい。また、広域加算金が切られるときは、このようなやりかたでやれというデザインの提示が望まれる。(U地区)</li> <li>▶ 社会保障制度改革国民会議は介護の「要支援」を介護制度から切り離し、市町村の裁量で行う事業へ移行する提案がなされているが、そうなった場合はこれまでの事業が継続できるか不安である。よって「要支援1,2」については従来どおりの取り扱いとして欲しい。(F市SC)</li> <li>▶ 一般労働者派遣事業は、派遣契約期間は一年間(最大3年間)になっているが、このため多くの就業機会を失う状況となっている。3年で終わるのではなく、延長出来るようなものとして欲しい。(F市SC、I市SC)</li> <li>▶ 事業仕分けで削除された補助金を復活して欲しい。(I市SC)</li> </ul> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>▶最近は隣近所が疎遠になったように思われる。高齢者の孤立化だけではなく、子育てにおいても相談出来る人がおらず、このように困っている人たちを繋ぐ地域のネットワークが必要である。行政はこのネットワークの形成に関して、もっと力を入れるべきで、シルバー人材センターも、既存の諸組織との連携を密にすることで、地域社会のネットワークの再編を図ることが必要と思う。(S市SC)</p> <p>▶高齢化が急速に進行する中、シルバー人材センターは今後どうあるべきかの方針を国としてもっとはっきりと打ち出すべきである。そうしないとシルバー人材センターがどの方向に進もうとしているかがはっきりせず、明確な方針が打ち出せない。(K市SC)</p> |
|--|--|--|

注) ご意見等は、主たる意見を記載。

別添 3

## 各シルバー人材センターの取組事例

# 事例 1 草加市シルバー人材センターの取組

## 1 親子のひろば「のび〜すく青柳」

- 平成 19 年度に地元自治体（草加市）の助成を受け、0~3 歳児「親子のつどいのひろば のび〜すく青柳」を草加市内（大型スーパーマーケット施設内）に開所。
- 育児に悩む母親などに母親同士の触れあいの場を提供する他、相談日を設け無料で保育士・助産士・栄養士による相談を実施。
- 「のび〜すく青柳」の平成 24 年度の年間利用者は 4,392 人（月平均 366 人）となっており、約 10 名のシルバー人材センター会員が交替（月 6~8 日就業）で運営に当たっている（日々 2~3 人の会員が就業）。
- 開所時間は午前 10 時から午後 4 時迄（土・日・祝日も開所）、月の利用料金は 1,200 円（一日利用の場合は 300 円）となっている。
- 地域の子育て支援と高齢者の就業機会の確保の両立を図る事業として、評価されている。



「のび〜すく青柳」外観



保育士資格を持つ会員



育児い役を務める男性会員（右端）

### ○就業する会員の皆様の声

- ・公立保育園を退職後、この施設で就業させていただいていますが、大変やり甲斐がある。子供の成長を見守れるのが何より嬉しい。
- ・男性会員でも子供が懐いてくれる。また、不審者が覗き込むようなこともあり、男性会員がいると安心感がある。

### ○施設利用者の皆様の声

- ・夫婦ともに県外出身で近隣に知人がいない。家においてもストレスが溜まるばかりであり、こうした施設が近くにあることで大変助かっている。スタッフ（会員）からは便秘など子供の体調が不良の場合の対処方法など育児の上でのアドバイスを親身にいただいている。
- ・母親同士の触れあいができて助かっている。駐車場もあり、買い物にも便利な立地にあり、こうした施設が増えると小さな子供を抱える母親には嬉しい。

## 2 ちょこっと手助けサービス

- 地域のニーズを取り入れた事業として、65歳以上の高齢者や障害者を対象に、買い物や部屋の掃除など日常生活上の手助けを行う事業（名称：「ちょこっと手助けサービス」）を平成24年7月から開始。
- 利用料金は、1回500円（30分程度のサービスを提供）。利用件数としては、月50~60件程度であるが、これをきっかけにシルバー人材センターの理解が深まり、他のサービスの受託に繋がることも多い。
- この事業は、独居老人の孤独死などが社会的な問題となる中、地元自治体（草加市）が、平成24年度に関係機関および関係事業者の協力を得て立ち上げた、地域の高齢者の見守りを行う事業（「草加市高齢者地域見守りネットワーク事業（愛称：634（むさし）ネットワーク）」）へ協力する手段ともなっている。
- 「むさしネットワーク」事業では、関係機関等が生活状況が心配な高齢者を把握した場合は、「地域包括支援センター」へ連絡し、事後、草加市が高齢者の支援をするというものであり、草加市シルバー人材センターは、「地域見守り協力機関」として、地元自治体へ協力をすることとしている。
- 高齢者の就業機会を確保し、また、独居老人の見守りに関して地元の地方自治体と連携した好事例と言える。



食事の配膳をする会員



家事支援をする会員

**平成24年7月スタート!!**

# シルバーの手助けサービス

## ちょこっと 始めました

高齢者や障がいのある方たちが、いつまでも楽しく安心して地域で過ごしていただくことを願って、お買物やお部屋の掃除など日常生活上のささやかな手助けをします。手助けサービスを通して、多くの市民の皆さんどうしの交流の輪がさらに広がることを願っています。

### ちょこっと手助けサービス

|         |                        |
|---------|------------------------|
| □利用料金   | <b>500円</b> （1人・30分程度） |
| □利用できる人 | 65歳以上の高齢者または障がいのある方    |
| □利用時間   | 午前7時30分～午後5時           |

ご利用例

- お買物
- おのこみ出し
- 電話・壁紙の交換（重いものがある場合）など

- 簡単なお掃除
- 給湯水やり

簡単なお掃除

壁紙の交換

お問い合わせ先

公益社団法人 **草加市シルバー人材センター**  
 電話 048-928-9211 FAX 048-928-9209  
<http://www.soka-silver.com/>

「むさしネットワーク」協働事業所（草加市高齢者地域見守りネットワーク）

### 「ちょこっと手助けサービス」案内チラシ

### ○就業する会員の皆様の声

- ・「ちょこっと手助けサービス」の利用者から「本当に助かった」という言葉を貰い感激しました。身近にハンディキャップのある方が居ることは意外と地域でもあまり知られていない。地域で支え合える社会になると良い(女性会員)。

## 事例 2 福井市シルバー人材センターの取組

### 1 介護と子育て支援の拠点「ひだまりの家」

- 福井市シルバー人材センターでは、平成元年度から全国に先駆けて福祉・家事援助サービス事業を開始し、平成 12 年度には、全国のシルバー人材センターのトップを切って介護保険事業に参入。
- 以降、通所介護事業、小規模多機能型居宅介護事業、介護タクシー事業、指定介護居宅事業等を展開、介護にかかる事業に力点を置いた運営をしてきている。
- 介護事業の拠点の一つとなるのが、福井市内に所在する「ひだまりの家」である。元々、地元自治体へ物納された物件であったが、地元自治体の後押しもありこれを介護ができる施設に改良し、平成 15 年 10 月からこの施設において通所介護事業（「シルバーデイサービス事業」）を開始した。
- 約 2,000 坪の敷地に赴きのある日本家屋と広い庭があり、他では見られない落ちついた面持ちの施設となっており、利用者から好評を得ている。
- また、同施設では、生後 6 ヶ月から就学前の幼児の一時預かり事業（「シルバーママサービス」）としての保育施設を併設している。
- シルバーママサービスの利用時間は月～土曜（祝日、お盆、年末年始を除く）まで 8:30～17:30 までで 1 時間 700 円（福井市市民で 1 日 8 時間以内の利用の場合 1 時間 350 円）となっている。



介護と子育て支援の拠点「ひだまりの家」

- 同施設では、看護師、ホームヘルパー、保育士などの資格を持つ会員約 30 人が、週 2 日程度の交代制で就業している。
- 地域の介護と子育て支援、高齢者の就業機会の確保の両立を図る事業と言える。



シルバーデイサービス事業



シルバーママサービス事業

## 2 多様な独自事業の展開

- 福井市シルバー人材センターでは、受託事業、介護保険事業、派遣事業のほか、独自事業として計19種類に上る様々な事業を展開している（以下に3例を掲示）。
- 独自事業は自らが生産したものを販売した売上げ等で就業する会員への配分金を確保するものであるが、受託事業等と異なり、売上げが少ない場合は十分な配分金が確保できない恐れがあるものである。
- こうしたリスクがある中でも多様な独自事業を展開するのは、会員の熱意とチャレンジ精神を持続させるもの。同センターの理事長は「会員の皆様お一人お一人がセールスマンの気持ちを持ち、座して待つのではなく自ら行動を起こし、元気で生きがいのある毎日を過ごそうではありませんか」と日頃から、会員へ呼びかけている。

### (1) しめ縄づくり

「ひだまりの家」に隣接する作業場において製作。正月に向けて10月から作業が佳境となる。平成24年度では、しめ縄大ジメ700個、しめ縄小ジメ1,000個を販売。1個1,000円（大ジメ）。会員約40人が就業している。



しめ縄作業所



しめ縄（大）

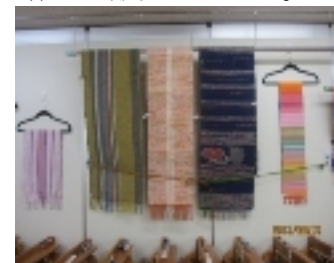
### (2) さをり織り教室

福井市シルバー人材センターでは、パソコン教室、英会話・中国語教室、着付け教室など市民等を対象に受講者を広く募集し、有料で講習会・セミナーなどを独自事業として実施している。その中で、他では見られないものが「さをり織り教室」である。大阪発祥の「さをり織り」は、パターン化された機械織りではなく、手織り機により自由な発想で織り込むもので、人気コースとなっている。

また、「手織り工房 おりひめ」において、会員が「さをり織り」にて製作した作品を販売している。



手織り機による実習



出来上がった作品

### (3) フリーマーケットでの委託販売

市内商店街の空店舗を活用し、「フリーマーケットのお店げんきくん」を運営。使わなくなった衣料・日用品の委託販売を行い、好評を得ている。



げんきくん店舗外観



げんきくん店内の様子

## 事例3 上田地域シルバー人材センターの取組

### 1 シルバー農園

- 地域における農業従事者の高齢化・農業の担い手の減少から耕作放棄地が増加。耕作放棄地の利用を高めることが地域の重要な課題。
- 上田地域シルバー人材センターでは、地元自治体に協力し、こうした地域の課題の解決を手助け。
- 国補助金が受けられる企画提案型の事業として平成23年度に上田市郊外の耕作放棄地等約450坪を借り受け、「シルバー農園」としてスタートさせ、自治体の助成も受けながら会員の就業機会の確保に努めている。
- シルバー農園では、約10人の会員が就業し、トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、パプリカ、里芋などを栽培し、地元市のほかシルバー人材センター事務所で販売。購入者からは「不揃いのももあるが、味が良い」と好評。
- 年間の売上げは60～70万円であるが、農業分野における就業機会を確保することの先駆的な取組みであり、今後が期待される。



上田地域シルバー人材センター



シルバー農園



シルバー農園で収穫を喜ぶ会員

### ○シルバー農園で就業する会員の皆様の声

- ・元サラリーマンであるが、楽しく就業させていただいている。野菜作りは簡単でないが、作り方を丁寧に教えていただいており、得た知識は自宅での栽培でも役立っています（男性会員）。
- ・元々農家であり、その関係でシルバー農園のリーダーをさせていただいている。虫に喰われて2～3割は売りものにならないが、購入者からは好評を得ており、今後も続けていきたい（男性会員）。

### ○関係者の声

後継者不足などにより市内には遊休農地が沢山あり活用の申し出も多く、何とかそうした要望にも応えたい。しかしながら、年間60～70万円の販売額であると、その大部分は種・肥料・農薬の購入費用で終わってしまうのが実状である。地域の課題と高齢者の就業確保をいかに図っていくかが課題である。



## 2 子ども体験教室

- 耕作放棄地が増加している理由に、農業の後継者不足があるが、まずは次代を担う子供達に土に親しみ収穫する喜びを通じて、農業の理解をして貰うことが必要。
- こうしたことから、遊休荒廃農地を活用し、子供の収穫などの農業体験教室を行うことを柱とする企画提案型事業を平成21年度から実施している。
- 平成24年度は、子供体験教室を夏、春の休みに延べ9日間開催。ジャガイモの植え付け、収穫、牧場体験などを実施。参加児童数は、長野県内の小学生を中心に目標数の1.3倍、参加会員数も1.5倍の実績を挙げている。
- 学校ではなかなか体験できないものであり、子供達も積極的に参加しているほか、地域にも好評を得ている。現在参加料は無料（傷害保険料のみ徴収）で実施。
- 事業内容としては地域の課題解決にも協力出来得るものであるが、発展的に自主事業化出来得るかが最下の課題であり、現在方策を模索している。



そば打ちの体験をする子ども達



熱心に教える会員

○独自事業化するには、参加費用を有償化し、なおかつ関東近県からも広く募集し参加者を確保していく必要があると考えられるが、子ども体験教室のPR、旅行代理店などを通じた募集など、方策について幅広く検討していく余地がある事業である。

### ○参加者の声

- ・学校でこうしたことは教えてくれないし、初めてのことでとても楽しかった。優しく教えて貰って良かった。  
(そば打ち参加の小学生)

### ○関係者の声

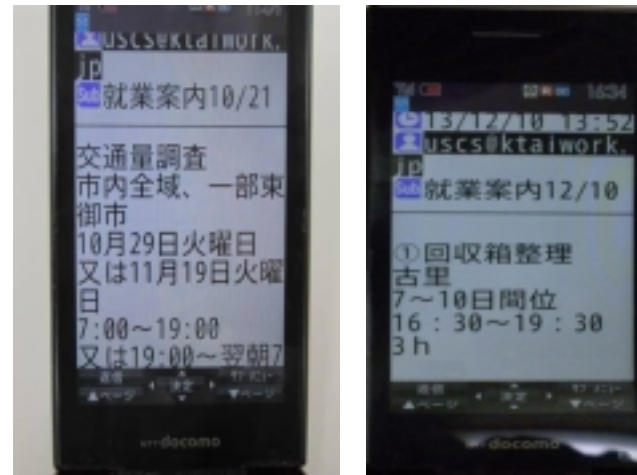
- ・地域の中で「農業と子育て支援」というテーマに一環して取り組んできた。こども体験教室もその一環である。将来を担う子ども達に土と親しむことを教えていくのは、我々世代の責務でもある。シルバー人材センターとしても何らかの形で遊休耕作地が減らせるようなことに協力できると良いと考えている。
- ・これまでのこうした取組もあって、地元自治体から「市民農園」の管理も任されるようになった。シルバー人材センターとしても、今後、市民農園的なものを育て、農業に参加する人づくりにチャレンジしていきたい。
- ・シルバー人材センターの会員約2,000名に協力していただき、地域の農業を発展させていきたいと考えているが、農家も高齢化が進んでおり、栽培や収穫など手伝って欲しいという要望もあるので、まずはこうしたことから取り組んでいきたい。

### 3 携帯メールを活用した連絡体制づくり

- 従来、発注者等から業務の委託等を受けた場合に、シルバー人材センター会員に就業依頼をするのは、電話連絡が主体であったが、携帯メールを活用した連絡体制づくりに取り組んでいる。
- 予め携帯電話を登録している会員に一斉メールを送信し、一早く就業案内情報を伝達。会員からの連絡を待ち、調整の上、就業者を決定している。
- 現在携帯メールの登録率は全会員の約10%であるが、よりスムーズな連絡手段の導入により事務局・地区班長などの連絡にかかる事務の効率化と就業機会提供の公平性が担保されるようになっており、体制づくりを進めていく。
- 会員への就業案内情報の伝達手段として、先駆的な事例と言える。

### 4 会員一人一開拓運動の実施

- 上田地域シルバー人材センター会員は、「常に、仕事はないか」ということを念頭に、発注者や企業などとの関係づくりの強化に努めている。
- 役員も民生委員会、医師会会合、老人クラブなどありとあらゆる機会を通じてセンターのPRをしている。
- 1人の会員が新たに1万円の仕事を見つけられれば、約2千万の増収に繋がる。こうしたことで、就業促進部会を中心に、「会員一人一開拓運動」を推進。
- この結果、平成24年度は、一般家庭を対象とした就業実績で、前年度比111.4%の増加を見た。
- 開拓数上位者には功績賞を授与した。



携帯一斉メールを活用した就業情報の伝達

上田地域シルバーだより 第172号 2013年4月20日発行

## 最大一人10件の開拓 この運動を続け、さらに全員で開拓促進を

平成24年度は一般家庭の就業実績で、前年度比111.4%を記録  
就業実績の成果が顕著した。

平成24年度前半の度場低下傾向を受け、就業促進部会に依頼をいただいた際、年度後半から就業促進部会を中心に会員の皆さんご協力を得て会員一人一開拓運動を進めてきましたが、その結果、一人で10件もの実績を上げた就業実績の高齢者に予備金を10万円以上の皆さんが177名に及ぶ開拓を実施、大きな成果をあげることができました。これによって活躍された皆さんの数は、

ご協力いただいた会員の皆さんに厚くお礼を申し上げます。この成果を今後の糧にしてください。開拓活動の多かった一般家庭に比べて、就業実績を25年度には民間企業などにも伸ばして、積極活動による就業拡大を進めていくことが部会では決まっています。なお、開拓された会員の皆さんには部会の賞も兼ね、気持ちばかりではありませんが、功績賞を部会の場で頒布させていただきます。

### 1. 紹介実績数

| 職別 | 職種 | 10件 | 8件 | 7件 | 6件 | 5件 | 4件 | 3件 | 2件 | 1件 | 総人数 |
|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 正  | 男  |     | 1  | 1  |    | 2  | 1  | 1  | 7  | 24 | 37  |
|    | 女  | 25  |    |    |    |    |    | 1  | 7  | 9  | 10  |
| 兼  | 男  | 11  |    |    |    |    |    |    | 3  | 5  | 6   |
|    | 女  | 62  | 1  | 1  |    | 2  | 1  | 1  | 5  | 17 | 29  |
| 兼  | 男  | 10  |    |    |    |    |    |    | 4  | 2  | 6   |
| 計  | 男  | 177 | 1  | 2  | 1  | 0  | 4  | 2  | 3  | 26 | 56  |
|    | 女  |     |    |    |    |    |    |    |    |    | 37  |

上田地域シルバーだより (2013年4月20日号)

## 事例4 甲賀市シルバー人材センターの取組

### 1 剪定枝葉チップリサイクル事業

- 独自事業として、剪定業務で発生する枝葉を再利用し、肥料（雑草抑制剤・土壌改良材）を製造・販売する事業を平成12年6月から開始。
- 従来、剪定後の枝葉は処分していたが、再利用により処分費用の軽減と、肥料販売による売上げ収入を得ることが可能となった。
- 製造方法は、集積した枝葉を高速粉砕処理機（中型チップシュレッダ）を利用しチップ化し、米ぬか・鶏ふん・発酵菌を混ぜ合わせ、約半年間かけて熟成させ堆肥化し完成。完熟堆肥を袋詰めし、「コンポ水口 2000」という商品名（1袋20リットル入り120円）で予約販売をしている。
- 平成12年度から平成24年度までの13年間に約35,000袋（年間平均約2,700袋）を販売。価格が安価であることもあり好評で、半年待ちの状況。
- シルバー人材センター当該事業に就業する会員は剪定班所属の15名の会員が携わっている。
- 廃材（枝葉）の集積場および作業場は地元自治体の協力を得て、市の所有地約300坪を賃借。
- 他の事業で不要となる廃材等を再利用する独自事業であり、資源の有効活用と高齢者の就業機会の確保の両立を図る事業と言える。

### 剪定枝葉チップリサイクル事業生産工程



①枝葉をチップ化



②チップの仕込み



③堆肥化



④コンポ水口 2000

### ○堆肥の更なる利用

剪定枝葉チップリサイクル事業で発生した堆肥を使い、休耕田等を利用して地元の特産品である「かんぴょう」を栽培し、天日干した製品を販売。さらに地域自治振興会と連携してかんぴょうを原料にしたオリジナルペットボトル茶の生産に原料提供している。

## 2 「四季まんてん甲賀野菜」ブランド化推進事業

- 地元自治体（甲賀市）は、地元（甲賀）野菜の生産拡大を図るため、市内で生産され生産履歴がしっかりと記帳された野菜を「甲賀野菜」と位置づけ、シンボルマークを作成しブランド化を図り、このマークを付けた野菜を生産販売する取組みの推進を行っている。
- 甲賀市シルバー人材センターでは、この取組みに協力し、企画提案方式事業として、国・自治体の助成を受けながら、耕作放棄地や会員所有の畑を利用して、「四季まんてんブランド甲賀野菜」の名称で生産（ニンニク、カボチャ、サツマイモ、ジャガイモ等）している。
- 生産する野菜は、化学肥料や農薬を通常の半分以下に削減し、環境への負荷を削減する目的で栽培したこだわりのもので、甲賀市農業振興課およびJAと連携し出荷・販売。
- 販売に当たっては、シルバーネットワークも活用し、京阪神の都市部のセンターにも協力を求め、販売をしている。
- 農業分野において地元自治体と連携した事業であり、高齢者の就業機会を確保でき得る事業として期待できる。



収穫したサツマイモの選別



収穫したニンニクの箱詰め



水口かんびょう



かんびょうを原料としたお茶

### ○就業する会員の皆様の声

- ・甲賀市シルバー人材センターの事業で、にんにく、かんびょうの栽培をしています。十分満足しています。安心・安全な栽培の仕方を研修会で学べたことが非常に役立った。来年も消費者に喜んでもらえる品物を作っていきたい（女性会員）。
- ・シルバー堆肥・コンボを使ってかんびょう栽培を開始して5年目になるが、本年から研修会への参加やコーディネータのアドバイスにより品質の良いかんびょうが生産できる様になり喜んでいる（男性会員）。

### ○地元自治体意見・評価

- ・市は甲賀野菜の生産拡大推進事業を重点に進めています。甲賀市シルバー人材センターはこれに連携し取り組んでいただいていることを評価したい。また、「甲賀野菜」のシンボルマークを活用したPR活動やブランド化していただいていること、さらに、甲賀野菜の生産を通じ、耕作放棄地の解消や高齢者の生きがい・就業機会の確保に努められていることも評価します。
- ・シルバー世代の蓄積されたノウハウが環境にやさしい農業に生かされようとしている。シルバー人材センターの全国的な組織を活用した販路開拓は安心な取引に発展する期待が持てる。

## 事例5 守口市シルバー人材センターの取組

### 1 訪問介護事業

- 平成13年7月から介護保険事業の訪問介護サービス提供事業所としてスタートし、平成18年4月からは介護予防訪問介護事業・障害者自立支援法に基づく居宅介護事業を開始。
- 平成24年度実績は、訪問介護利用者月平均120名、訪問延べ回数21,012回となっている。守口市シルバー人材センターでは事業開始後、介護の取組みに力を入れてきており、現在、守口市内に約100余りの訪問介護事業所があるが、利用者数等から見てベスト3に入っている状況。
- 訪問介護事業で就業する会員は、ヘルパー2級以上の資格者を就けているが、資格のない入会者は講習等を受講し、資格を取得した上で就業。
- 介護事業に就業する会員は70歳前後がメインであるが、はつらつと就業している。事業開始時には「老々介護で大丈夫か」との心配もあったが、問題なく事業を展開している。
- 就業する会員は、特に、長年の主婦業を生かして調理に自信があり、訪問先にある限られた食材で何品も料理する技量は他の事業所にはないものと、利用者からも好評を得ている。
- 地域への介護サービスの提供と高齢者の就業機会の確保の両立を図る事業として、評価されている。



訪問介護先で生活支援をする会員（左）

### ○就業する会員の皆様の声

- ・100歳になる男性の介護を担当しています。軽度の痴呆もあり、言葉であまり気持ちを表現するのは苦手な方ですが、時折「ありがとう」という言葉をかけていただき、嬉しくなります。おいしい食事を提供できるよう、野菜料理の工夫など努力しています。

### ○訪問介護サービス利用者の皆様の声

- ・一人暮らしをしているが、身の回りの世話や介護を親身にしていただき大変有り難く思っています（男性）。

## 2 病弱者等福祉サービス

- 地域の介護老人保健施設と提携し、施設に入居する老人の福祉サービスの提供を平成14年度から開始。衣類の洗濯、買物、掃除、病院への付き添い等のサービスを有料で提供。
- 介護老人保健施設に入居する老人は、身寄りのない方、家族が遠方にいる方、高齢・身体的機能低下により身の回りのことが自由にできない方など様々な事情を抱える方が入居している。
- 一方、老健施設側においても、職員が入居者の身の回りの全てのことを常時介助・支援することもできないため、シルバー人材センターと提携したことは施設・利用者ともにメリットが生じている。
- 現在、提携している施設は3カ所（入居する約20の方がサービスを利用）であるが、今後、これまでの活動実績を踏まえて、地域の老健施設へ提携の働き掛けを行うこととしている。
- 衣類の洗濯の場合、1回の利用料金は平均2,500円（コインランドリーでの洗濯機・乾燥機代含め）となっており、利用者は概ね月2回程度洗濯サービスを利用している。
- 地域の介護老人保健施設の福祉サービスの向上とともに、高齢者の就業機会を確保でき得る事業として期待できる。



守口市シルバー人材センター



提携する介護老人保健施設



ていねいに洗濯をする会員

### ○就業する会員の皆様の声

- ・70歳も過ぎましたが、介護老人保健施設での仕事をさせていただいて、改めて、社会に参加させていただいているという喜びを噛みしめています。
- ・正直、「子供の世話になりたくない」し、「年金だけでは生活できない」という状況があり、シルバー人材センターで就業でき大変助かっています。
- ・一度、辞めようとも思ったこともありましたが、利用者の方から「辞めないで欲しい」という気遣いの言葉を掛けられ、これからも続けていくことにしました（女性会員）。

### ○発注者の皆様の声

- ・シルバー人材センターの方は、入居者の話し相手にもなってくれており、施設としても大変助かっています。

## 事例6 伊丹市シルバー人材センターの取組

### 1 保育園の運営

- 平成20年10月から認可外保育施設として、月極保育事業を開始。
- 元々は、市立病院勤務の職員向けの院内保育施設として開所され投資効率の悪さから閉鎖するに至った施設であるが、働く母親のための育児支援を通じて地域にも貢献できると判断し、運営を引き受けたもの。
- 現在は、病院職員のほか市内に在住または在勤者の0～5歳までの約50名の保育希望者を受け入れている。
- 同保育園では、職員としての保育士等14人のほかにシルバー会員25人が就業しており、保育の担当として12人、調理担当として4人、管理・事務・用務・清掃担当として9人の会員が活躍している。
- 課題としては、収入は利用者の保育料収入のみであり、支出が超過しておりセンターの内部留保を取り崩して対応。



保育所施設玄関



園児と教室にて

現在、子ども一人当たりには一定の公的補助が受けられる認可保育所の認可を受けられるよう目指している。



保育施設で園児と過ごす会員

### ○就業する会員の皆様の声

- ・市民病院で看護助手をし、60歳で退職後、この保育園で就業することになりました。子供と過ごすことができとても楽しいし、やり甲斐があります。子供から教えられることも多く、続けていきたいと思えます（女性会員）。
- ・保育園で管理などの仕事をしています。園児の父母でない見たことのない方がいきなり入ってくることもあり、気を遣います。様々な催しなどでは子供達とともに動き回りとても楽しく過ごしています（男性会員）。

## 2 女性会員の就業機会の拡大

- 女性会員比率は全国平均で 32.3%と約 3 割の状況（全シ協統計年報 平成 23 年）にあるが、伊丹市シルバー人材センターでは、特に、女性会員の拡大に力を注いでおり、女性会員比率は 38.8%（H25.4.1 現在）となっている（全国第 15 位）。
- 女性会員を増加させるには、女性が就業しやすい就業先の確保が課題となるが、伊丹市シルバー人材センターでは、地元自治体とも連携し、独自事業も含めて多様な就業先を開拓する努力をしている。
- 平成 25 年 4 月現在、女性会員数は 1,133 人となっているが、これまでに拡大してきた特徴のある就業先は、以下のとおりである。

- ①清掃業務（会社・マンションの清掃）：約 200 人
- ②家事援助サービス（高齢者世帯の掃除、洗濯、料理作り、病院の付き添い）：約 130 人
- ③公園内の売店での販売（市から運営を委託された公園内売店（「昆陽池」および「スカイパーク」売店）での飲み物、菓子類の販売）：17 人
- ④市立中学校売店での販売および市立高校の食堂の運営：15 人
- ⑤大阪芸術大学短期大学部での喫茶店の運営：15 人
- ⑥デイサービスセンターの開所（民家を改装し、シルバーデイサービスセンターを平成 17 年から運営、7～8 人の要介護者へのサービスを提供）：約 20 人
- ⑦保育園の運営（認可外保育施設を運営）：25 人

注）「：」以下人数は、会員の就業人数



### ○就業する会員の皆様の声

- ・シルバーにいるから、「出会い」「人との繋がり」が持てる。
- ・感謝されることで仕事に張りができて、生きがいになっている。



- ・何もしない毎日  
は退屈。シルバー  
に入会し仲間と共  
に働くことで元氣  
に頑張れる。
- ・仕事をするこ  
とで規則正しい生活  
ができ体調が良  
くなった。
- ・お客様の「美味  
しかった」の一言  
は何よりの励みで  
す。



# 事例7 府中町シルバー人材センターの取組

## 1 ふれあい喫茶「椿庵」の運営

- 独自事業として、安芸府中町生涯学習センター「くすのきプラザ」に喫茶店（名称：ふれあい喫茶「椿庵」）を出店し運営を行っている。
- 「くすのきプラザ」は、府中町・府中町教育委員会が設立したもので、町立図書館、大アリーナ、ギャラリー、トレーニングルームなどを有する複合施設となっている。
- 椿庵の営業時間は、午前10時～午後3時までとなっており、10人の会員が交替で就業している（1日3人～4人の会員が就業、1人は調理師資格者）。
- 椿庵が昼食時間に提供する、「日替わり定食」と地元名物の「白そば」が特に好評を得ている。



椿庵スタンド看板



椿庵カウンター（奥の部屋が厨房）



椿庵食事メニュー



好評の日替わり定食（500円）

○喫茶店や食堂施設において就業を希望する会員は潜在的には少なくないものと考えられるが、独自事業によりこうした就業場所を確保することは、会員の就業意欲やモチベーションを高め、有する技能を発揮する場も提供できるものと言える。

### ○就業する会員の皆様の声

- ・水を得た魚のようである。やってみて良かった（男性会員）。
- ・日替わり定食の献立を考えたり、食材の調達も自分でしているが、やり甲斐があり楽しい（女性会員）。

### ○「椿庵」利用者の声

- ・定食の内容が良く、値段も安いので、十分満足している。白そばの量がもう少し多いともっと良い（男性利用者）。
- ・年中掃除をしていて清潔であり、気持ちが良い。応対も親切で良く利用させていただいています（女性利用者）。

## 2 シルバーママサービス事業

- 高齢者の子育て経験を生かし、世代間の助け合いを行うとともに、地域社会に高齢者の活躍の場を確保することを目的に、乳幼児の一時預かり事業（認可外保育施設）を平成 17 年 6 月から実施。
- 一時預かり施設は、府中町シルバーワークプラザ内の一面に設置し、生後 6 ヶ月～未就学前児までの乳幼児を一時預かり（月～金曜日までの 9 時～15 時迄 定員 10 人申し込み順）である。
- 利用料金は、3 時間未満、3 時間～5 時間、5 時間以上の 3 段階で 3 歳未満と 3 歳以上の利用条件により異なるが、1,200 円～2,500 円の範囲となっている。
- 保育士、看護師の資格を持つ会員と子育て経験が豊かで「保育サーポータ養成講座」を修了した会員約 10 人が交替により運営に当たっている。
- 利用者の多くは町内にある大型のショッピングモールでの買い物などをする母親等であるが、平成 24 年度の年間利用者は延べ 1,160 人である。



シルバーワークプラザ外観



子どもの一時預かり施設



子どもをあやすのにも慣れている会員

- 府中町シルバー人材センターでは、地元自治体と連携し、育児・介護に伴う家庭内での負担を地域の方々が支援する「府中町ファミリーサポートセンター」事業の受託をしている。一時預かりで、育児に疲れた母親を把握した場合は、ファミリーサポートセンターに繋げ、子育ての悩みを聞き様々なアドバイスを行おう努めている。

### ○就業する会員の皆様の声

- ・小さなお子様をお預かりするので、アクシデントが怖いですが、そういうことも無く、楽しく就業させていただいている。
- ・子どもが懐いてくれるので、やっていて楽しい。
- ・主人を亡くし生活にも不安があったが、就業出来る場所があったら良かった。

## Ⅱ 過去の活動報告

アフターサービス推進活動にかかるこれまでの報告書のリンク先は以下のとおりです。

- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 1: 2010年9月～2010年12月\) 平成22年12月24日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 2: 2011年1月～2011年3月\) 平成23年3月31日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 3: 2011年4月～2011年6月\) 平成23年7月11日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 4: 2011年7月～2011年9月\) 平成23年9月30日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 5: 2011年10月～2011年12月\) 平成24年1月26日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 6: 2012年1月～2012年3月\) 平成24年4月13日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 7: 2012年4月～2012年6月\) 平成24年7月9日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 8: 2012年7月\) 平成24年8月3日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 9: 2012年8月～2012年11月\) 平成24年12月21日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 10: 2012年12月\) 平成25年1月11日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 11: 2013年1月～2013年4月\) 平成25年4月30日](#)
- [アフターサービス推進室活動報告書 \(Vol. 12: 2013年5月～2013年8月\) 平成25年9月30日](#)

[🏠 ページの先頭へ戻る](#)